

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	1 健康を育むまちづくり
施策関係課	(保健部)保健総務課・管理課・疾病対策課・健康増進課・地域保健センター・食品衛生課・衛生検査課・国民健康保険課・高齢者保険事業室・看護専門学校

●施策の基本方針(目標)
市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査: Iー1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	47. 1(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	49.800	39.100	51.100	51.100	0.000	
指標②	名称	川口市民の65歳健康寿命(男性)				単位	年
	目標値	17. 74(令和7年度)	現状値	16. 90(平成30年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	17.050	17.220	17.400	17.270	0.000	
指標③	名称	川口市民の65歳健康寿命(女性)				単位	年
	目標値	20. 89(令和7年度)	現状値	20. 00(平成30年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	20.200	20.420	20.590	20.570	0.000	
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	7,153,319	7,482,388	5,488,489	6,688,402	6,047,008
	概算人件費	1,232,716	1,170,892	1,093,446	1,119,024	1,145,748
	総事業費	8,386,035	8,653,280	6,581,935	7,807,426	7,192,756

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 55	単位施策② 53	単位施策③ 53	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			53.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 保健・予防活動の推進								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
不妊支援事業	保健部	358,152	89,632	36,624	35,108	40,128	58	効率化して実施
	健康増進課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
産後ケア事業	保健部	—	—	17,647	34,893	49,167	58	拡充して実施
	地域保健センター	—	—	5,530	13,689	15,355		
健康推進事業	保健部	1,339	2,022	9,789	10,845	2,624	50	現状維持で実施
	保健総務課	316	308	3,081	3,159	332		
食生活改善推進事業	保健部	652	857	876	925	919	52	効率化して実施
	保健総務課	4,977	4,851	2,765	2,835	2,905		
健康フェスティバル事業	保健部	39	2,824	3,590	3,062	—	54	他事業に統合されて実施
	保健総務課	5,135	5,005	5,135	5,265	—		
じん肺健康診断費補助事業	保健部	2,119	2,069	2,311	2,011	2,070	52	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	395	405	415		
その他保健衛生総務費	保健部	1,349	5,815	1,848	2,972	1,563	54	現状維持で実施
	保健総務課	1,975	1,925	2,370	2,025	2,075		
専門職員等研修費	保健部	606	866	1,111	1,558	2,345	54	現状維持で実施
	管理課	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
肝炎治療費助成事業	保健部	157	135	154	169	281	60	現状維持で実施
	疾病対策課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
感染症予防対策事業	保健部	1,381,139	2,052,968	453,720	202,301	26,744	56	効率化して実施
	疾病対策課	213,300	169,400	86,900	97,200	99,600		
精神保健福祉支援事業	保健部	26,103	42,724	49,090	48,930	53,002	58	現状維持で実施
	疾病対策課	79,000	84,700	86,900	89,100	91,300		
予防接種事業	保健部	1,652,914	1,715,419	1,784,286	3,117,290	2,448,646	58	現状維持で実施
	健康増進課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
妊産婦健康診査等事業	保健部	517,508	455,748	411,651	397,094	415,063	56	現状維持で実施
	健康増進課	7,110	6,930	10,270	10,530	10,790		
乳幼児健康診査事業	保健部	125,476	132,998	123,518	124,668	134,010	56	現状維持で実施
	健康増進課	102,700	100,100	26,070	26,730	34,030		
がん検診事業	保健部	795,401	814,408	839,845	897,530	841,738	52	現状維持で実施
	健康増進課	30,020	36,190	47,400	42,120	41,500		
健康診査事業	保健部	73,819	73,257	69,627	66,229	75,499	56	現状維持で実施
	健康増進課	10,270	10,010	12,640	11,340	9,960		
成人健康づくり事業	保健部	2,302	3,270	4,106	6,560	2,157	52	現状維持で実施
	健康増進課	40,290	39,270	20,540	21,060	17,430		
歯と口の健康フェスティバル事業	保健部	0	1,123	1,198	970	1,362	54	効率化して実施
	健康増進課	0	15,400	3,950	4,860	4,980		
こども家庭センター母子保健事業	保健部	—	—	—	24,435	68,211	56	現状維持で実施
	地域保健センター	—	—	—	25,389	44,089		
母子健康手帳交付・相談支援事業	保健部	517,508	455,748	32,397	5,719	4,181	56	現状維持で実施
	地域保健センター	7,110	7,110	49,777	47,520	21,829		
食品衛生事業	保健部	1,375	2,518	2,467	2,840	5,578	54	現状維持で実施
	食品衛生課	103,332	84,700	110,600	105,300	116,200		
食肉衛生検査事業	保健部	12,699	11,176	12,795	15,262	15,910	54	現状維持で実施
	食品衛生課	55,300	53,900	55,300	56,700	58,100		
衛生検査事業	保健部	139,088	79,392	68,408	79,067	78,828	54	現状維持で実施
	衛生検査課	86,900	84,700	86,900	72,900	74,700		

単位施策名	② 医療体制の充実							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
小児夜間等救急診療事業	保健部	149,361	149,187	147,980	147,826	158,327	52	現状維持で実施
	保健総務課	9,480	9,240	9,480	9,720	9,960		
在宅当番医制事業	保健部	23,309	23,309	23,503	23,309	23,668	50	現状維持で実施
	保健総務課	1,422	1,386	1,422	1,458	1,494		
在宅歯科診療事業	保健部	11,123	11,022	11,123	11,123	11,272	46	現状維持で実施
	保健総務課	1,422	1,386	1,422	1,458	1,494		
病院群輪番制運営事業	保健部	31,044	31,044	31,187	31,044	31,116	52	現状維持で実施
	保健総務課	2,765	2,695	2,765	2,835	2,905		
外国人未払医療費対策事業	保健部	1,610	0	750	780	1,500	52	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	632	648	415		
公的医療機関運営費補助事業	保健部	151,958	163,868	163,868	162,731	162,731	52	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	395	405	415		
済生会川口看護専門学校補助事業	保健部	4,270	4,270	4,270	4,270	3,843	56	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	395	405	332		
済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	保健部	8,120	7,404	6,806	6,291	—	52	完了
	保健総務課	395	385	395	405	—		
骨髄移植ドナー支援事業	保健部	420	420	560	280	756	52	現状維持で実施
	保健総務課	316	308	316	324	332		
医師会補助事業	保健部	2,547	2,547	2,547	2,547	2,293	56	現状維持で実施
	保健総務課	395	385	395	405	249		
医療安全相談事業	保健部	0	0	0	25	50	52	現状維持で実施
	管理課	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
医療施設指導等事業	保健部	3,815	3,826	3,842	3,965	148	56	現状維持で実施
	管理課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
薬事関連施設指導等事業	保健部	93	131	191	143	219	56	現状維持で実施
	管理課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
献血推進事業	保健部	2,082	2,306	2,078	2,252	2,299	52	現状維持で実施
	管理課	2,765	2,695	2,765	2,835	2,905		
難病支援事業	保健部	16,824	19,476	6,826	12,970	16,274	56	現状維持で実施
	疾病対策課	47,400	46,200	47,400	40,500	49,800		
奨学金貸付事業	保健部	22,890	24,120	25,650	26,100	30,600	58	現状維持で実施
	看護専門学校	7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
看護学科運営費	保健部	19,066	19,002	19,969	22,001	22,460	58	現状維持で実施
	看護専門学校	94,800	88,400	94,800	97,200	99,600		

単位施策名	③ 医療保険制度の充実							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
被保険者証発送事務費	保健部	50,750	50,197	48,827	50,047	87,452	54	効率化して実施
	国民健康保険課	67,940	66,220	67,940	69,660	71,380		
国保給付事務費	保健部	76,891	73,208	72,702	72,426	89,389	54	効率化して実施
	国民健康保険課	7,900	7,700	7,900	8,100	8,300		
賦課事務経費	保健部	74,576	62,723	67,528	83,794	96,617	56	効率化して実施
	国民健康保険課	82,081	80,003	82,081	84,159	86,237		
国民健康保険運営協議会経費	保健部	217	418	388	367	796	56	現状維持で実施
	国民健康保険課	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
保健衛生普及事業	保健部	19,183	19,222	18,520	21,397	25,599	52	現状維持で実施
	国民健康保険課	5,530	5,390	3,950	4,050	4,150		
後発医薬品利用促進事業	保健部	309	211	197	127	480	54	現状維持で実施
	国民健康保険課	5,530	5,390	3,160	3,240	3,320		
疾病予防事業	保健部	168,033	175,997	162,075	152,659	181,770	50	現状維持で実施
	国民健康保険課	5,530	5,390	3,950	4,050	4,150		
特定健康診査事業費	保健部	377,376	335,710	360,223	344,627	366,655	54	現状維持で実施
	国民健康保険課	17,380	16,940	17,380	17,820	18,260		
特定保健指導事業費	保健部	27,677	30,311	31,910	32,200	45,836	54	現状維持で実施
	国民健康保険課	15,800	15,400	15,800	16,200	16,600		
健康診査事業	保健部	164,692	185,308	196,940	224,152	230,976	50	現状維持で実施
	高齢者保険事業室	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
人間ドック検診料助成事業	保健部	105,790	112,318	116,892	126,248	139,504	50	現状維持で実施
	高齢者保険事業室	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
後期高齢者医療保険料徴収関係経費	保健部	29,548	29,864	34,079	42,263	44,352	54	現状維持で実施
	高齢者保険事業室	15,800	13,090	13,430	13,770	14,110		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	不妊支援事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	少子化社会対策基本法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	不妊症及び不育症の疑いがある、または診断された夫婦が不妊症検査又は不育症検査及び、生殖補助医療の経済的負担の軽減を図り、治療の機会を増やすことにより、少子化社会対策及び次世代育成支援の推進を図る。	・高額な医療費の経済的負担を軽減することで、より多くの市民が希望に応じた適切な医療を受けられる機会を増やす。 ・相談事業や講演会を行うことにより、性と健康に悩む市民の不安や悩みを軽減する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・早期不妊検査・不育症検査費助成事業、先進医療不育症検査及び生殖補助医療費助成事業より助成金交付を実施。 ・生殖医療専門医による相談事業(埼玉医科大学総合医療センター委託)の実施。 ・性と健康に関する相談窓口の設置。 ・性と健康に関するオンデマンド講演会の開催。	・早期不妊検査助成件数:279件 ・不育症検査助成件数:35件 ・先進医療不育症検査費助成件数:0件 ・生殖補助医療費助成件数:784件 ・性と健康の相談:電話46件、面接12件(うち不妊に関する相談:26件) ・不妊専門相談センター 相談件数:0件 ・講座回数:2回 参加者人数:計574名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・早期不妊検査・不育症検査助成件数:前年度比26件増加。→早期受診を推奨できた。 ・生殖補助医療費助成件数:前年度比87件減少。(前年度事業実施前の治療を含むため)→助成金の交付により、高額な医療費負担の軽減。 ・情報提供、相談指導の提供により、不安や悩みが軽減。	・早期不妊検査・不育症検査費助成事業及び生殖補助医療費助成事業の助成件数が増加していることから、事業の認知度が向上している。 ・生殖医療専門医による相談事業(埼玉医科大学総合医療センター委託)の普及啓発に努める。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	5 細々目	不妊支援事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		110,774		37,072		35,514		40,128		40,128
決算額(B)=(C)+(D)		89,632		36,624		35,108				
財源※	特定財源(C)	42,918		9,223		10,010		12,187		
	一般財源(D)	46,714		27,401		25,098		27,941		
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	105,032		52,424		51,308		56,728		56,728

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	事業の認知度向上に伴い、助成件数が増加している現状を踏まえ、業務プロセスの改善が必要。R7年度より申請期限を短期的に区切ることで業務量の均等化を図る。また、性と健康の相談日数を週5日へ増やし、相談しやすい環境を整える。更に、講演会等の開催を通して、生殖や妊娠・出産に係る正しい知識の普及啓発を実施する。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	産後ケア事業				担当	保健部	
						地域保健センター	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-256-1120	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	母子保健法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	・出産後1年を経過しない女子及び乳児に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。		・出産後1年を経過しない女子及び乳児に対し、母親の身体的回復と心理的安定を促進し、セルフケア能力を育み、母子の愛着形成を促し、家族が健やかに育児できるよう支援することを目的とする。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・新たに5か所の助産所と契約を締結し、より利用しやすい環境を整えた。 ・安全管理体制マニュアルを作成し、委託事業者に周知し安全管理体制を構築した。 ・乳幼児の事故予防のための安全確保を支援するため、乳幼児体動モニタの購入費用の一部助成を開始した。		・宿泊型を255件、日帰り型が1,119件を実施した。また訪問型では、産後28日以内を対象とする早期訪問型が100件、一般訪問型が40件実施した。・利用率は20.8%であった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・母親の身体的回復と心理的な安定が促進された。母親自身がセルフケア能力を育み、母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができることにつながった。		・産後うつ病の予防や早期発見により、早期に必要なに応じた支援につなぐことができた。 ・育児に対する不安が軽減され、対処方法を身につけることができた。また育児の孤立化を防ぐことができた。 ・今後も妊娠中から出産後までの支援を切れ目なく行う観点から、母子と家族への支援を一体的に実施することが課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	産後ケア利用者におけるアンケートによる満足度			指標・目標値の説明(算定式)	産後ケアアンケートで「利用された感想」が「とても満足」「満足」と回答した数÷産後ケアアンケート全回答数				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	95.00		95.00		95.00		95.00		95.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	3 細目	5 細々目	産後ケア事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0		6,132		37,942		49,167		60,355
決算額(B)=(C)+(D)		0		17,647		34,893				
財源※	特定財源(C)	0		8,807		18,061		36,874		
	一般財源(D)	0		8,840		16,832		12,293		
概算人件費(E)		0		5,530		13,689		15,355		15,355
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.70	0.00	1.69	0.00	
								1.85	0.00	1.85 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		23,177		48,582		64,522		75,710

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
58 ／60	・令和6年度から利用施設が5施設増え、より多くの選択肢の中から利用できるようになった。令和7年度には、新たに県からも補助金が交付され、市の負担が事業費の1/2から1/4へと軽減される予定である。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	健康推進事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	食育基本法、自殺対策基本法、川口市地域保健審議会条例、川口市補助金等交付規則、健康管理士一般指導員資格取得者補助金交付要綱他					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	健康で活力に満ちた街づくりを推進するため、市民の心身の健康・生きがいがいづくりを支援する。		健康寿命の延伸	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・地域保健審議会開催(5月・7月・2月) ・健康・生きがいがいづくり通信の配布 ・地域健康指導者資格取得者へ補助金交付 ・川口市健康応援アプリ「Sun-歩」の周知 ・川口市健康・生きがいがいづくり計画(第2次)、食育推進計画(第2次)を統合し策定した。		新たに川口市健康生きがいがいづくり計画・食育推進計画(第三次)を策定した。地域の健康・生きがいがいづくりに関する諸施策を総合的に推進できた。 また、川口市健康応援アプリ「Sun-歩」の周知を通じて、当該アプリの利用者数を増やし、日々の運動に対する意識の向上に寄与した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・健康・生きがいがいづくり・食育推進に関する知識を高めるきっかけにつながった。		地域健康指導者の資格取得については、健康に関するボランティア活動の増加につなげる目的であるため、単純な資格取得補助にならないよう実施していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市健康応援アプリ「Sun-歩」の利用者数				指標・目標値の説明(算定式)	川口市健康応援アプリ「Sun-歩」 3月末時点での利用者数							
	単位	人	指標の種別	結果										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
		2,000.00		3,000.00		4,500.00		6,100.00		7,600.00				
	実績値・達成状況	2,103.00	達成	3,609.00	達成	5,126.00	達成							
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別											
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
	実績値・達成状況													

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	5 細目	1 細々目	健康推進事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			2,451		10,621		11,647		2,624		2,624		
決算額(B)=(C)+(D)			2,022		9,789		10,845						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		2,022		9,789		10,845		2,624				
概算人件費(E)			308		3,081		3,159		332		332		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.04	0.00	0.39	0.00	0.39	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
総事業費〔(A)又は(B)〕+(E)			2,330		12,870		14,004		2,956		2,956		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	健康・生きがいづくり通信は、紙媒体で作成していたが、メール等での周知方法を検討しコストを削減する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	食生活改善推進事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	食育等に関するボランティア活動を行っている、川口市食生活改善推進員協議会の会員を対象に、調理実習や食中毒予防に関する研修を行うことで、地域の食生活の改善と健康増進を図る。		市民が、食事や運動を通じて健康増進に対する意識を高め、生き生きとした生活を送る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	1.月に一度、川口市食生活改善推進員協議会の支部長に対し、生涯学習プラザにて食生活改善推進員リーダー研修を行った。 2.希望する市民に対し、幸栄公民館にて食生活改善推進員養成講座を行った。		1.12回実施、参加者延べ323名 2.1回(全8講座)実施、応募者15名(定員15名)、延べ参加者75名、修了者9名 なお、応募者の平均年齢が69.3歳と例年に比べ高く、途中キャンセル3名、毎講座5名前後欠席	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	1.積極的に取り組み、食事を通じた健康増進に対する意識を高め、習得した知識・技量を地域に広め、地域の食生活の改善と健康増進を実現した。 2.川口市食生活改善推進員協議会の会員を2名増加した。		1.時代のニーズに合った活動形態(活動する曜日、時間帯など)が取れていないことから、若年層の参加がほとんどない。 2.既会員は、積極的に活動しているものの、すでに出来上がったコミュニティに新規で加入する若年層が少なく、会員の高齢化と会員数の減少に歯止めがきかない。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	食生活改善推進員養成講座参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の受講者数を基に算定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		15.00		15.00		15.00		15.00		15.00		
	実績値・達成状況	14.00	未達成	15.00	達成	15.00	達成					
指標②	名称	食生活改善推進員養成講座修了者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の修了者数を基に算定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		0.00		0.00		15.00		15.00		15.00		
	実績値・達成状況	0.00		0.00		9.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	5 細目	3 細々目	食生活改善推進事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,032		990		990		919		919	
決算額(B)=(C)+(D)		857		876		925					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	857		876		925		919			
概算人件費(E)		4,851		2,765		2,835		2,905		2,905	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.63	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,708		3,641		3,760		3,824		3,824	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	・会員数を増やすために、既存事業の内容を抜本的に見直す。 ・年に1度、地域伝達講習の食材の無償提供の要領を見直し、コストを削減する。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	健康フェスティバル事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～	令和	6	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進						
根拠法令等							

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、市民主役の健康づくりの実現につなげる。		すべての人にやさしい“生涯安心なまち”	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	令和6年9月29日、フレンディアにて、三師会や地域の団体によるブース出展、保健・医療・健康増進に係る功労表彰等各種表彰、健康講演を行った。		・来場者数 187人 ・保健・医療・健康増進功労者表彰受賞者数 13名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	市民の健康・生きがいづくりに関しての意識と感心を高めることができた。		昨年度より来場者数は増加しており、市民の健康・生きがいづくりへの関心の向上に寄与しているが、従来のやり方ではコストがかかる。また、中高年の来場者が多いように感じられるため、幅広い年代に関心をもってもらえるような内容も検討する必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会場への来場者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の会場への来場者数の平均値					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		253.00		250.00		250.00		—		—		
	実績値・達成状況	56.00	未達成	152.00	未達成	187.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	5 細目	2 細々目	健康フェスティバル事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		3,678		3,677		3,603		0		0
決算額(B)=(C)+(D)		2,824		3,590		3,062				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,824		3,590		3,062		0		
概算人件費(E)		5,005		5,135		5,265		0		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,829		8,725		8,327		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	イベントの趣旨を大事にしつつ、今後は、コストを大幅に削減して継続できるよう、また、より幅広い世代に関心をもってもらえるよう、内容の検討を行っていく。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	他事業に統合されて実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	じん肺健康診断費補助事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	じん肺法、川口市補助金等交付規則、じん肺健康診断費補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	じん肺法に基づくじん肺健康診断の受診促進を講じ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援する。		粉じん作業従事者が、職業病をいち早く発見・治療し、健康な状態で働き続けることができる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	川口鋳物工業協同組合が実施したじん肺健康診断に対し、補助金を交付した。		じん肺健康診断におけるレントゲン受診者数:482人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	じん肺健康診断を受診することで、職業病の早期発見・治療につながった。		じん肺健康診断の充実が図られ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療につながっており、健康に働くための支援ができています。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	レントゲン受診者数				指標・目標値の 説明(算定式)	じん肺健康診断におけるレントゲン受診者数(人) 目標設定がなじまない事業のため実績値のみとする					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	501.00	—	585.00	—	482.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	6 細目	2 細々目	じん肺健康診断費補助事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		2,500		2,500		2,300		2,070		2,070	
決算額(B)=(C)+(D)		2,069		2,311		2,011					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	2,069		2,311		2,011		2,070			
概算人件費(E)		385		395		405		415		415	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,454		2,706		2,416		2,485		2,485	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	粉じん作業従事者の健康のために欠かさない補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	その他保健衛生総務費				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口歯科医師会補助金交付要綱、川口薬剤師会補助金交付要綱、川口食品衛生協会補助金交付要綱 等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	各保健衛生団体(一般社団法人川口歯科医師会・一般社団法人川口薬剤師会・川口助産師会・川口食品衛生協会・埼玉県柔道整復師会川口支部)に補助することにより、市民の健康増進及び公衆衛生の向上を図る。	補助金を交付して各団体の活動を支援することで、市民の健康増進及び公衆衛生が向上する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・救急歯科診療、歯科健康診断 ・研修会、講習会 ・細菌検査・食品の自主検査の励行、巡回指導 ・街頭キャンペーン、パンフレット等の作成 などの活動に補助金を交付した。	各団体への補助金交付額 ・一般社団法人川口歯科医師会:725,000円 ・一般社団法人川口薬剤師会:670,000円 ・川口助産師会:48,000円 ・川口食品衛生協会:340,000円 ・埼玉県柔道整復師会川口支部:82,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・歯科診療や歯科健康診断などにより、市民の歯科口腔衛生の向上が図られた。 ・講習会の開催、食品の自主検査の励行、巡回指導などにより、食中毒等の事故を未然に防止した。	各団体が行っている健康診断や講習会等を通じて、市民の健康増進に寄与している。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	6 細目	4 細々目	その他保健衛生総務費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		5,816		1,877		2,978		1,563		1,563
決算額(B)=(C)+(D)		5,815		1,848		2,972				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	5,815		1,848		2,972		1,563		
概算人件費(E)		1,925		2,370		2,025		2,075		2,075
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.30	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,740		4,218		4,997		3,638		3,638

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	市民の健康増進、公衆衛生の向上のために必要な補助事業であり、今後も現状維持で実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	専門職員等研修費				担当	保健部	
						管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-2334	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	保健所運営に関する法令その他通知等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	保健所内の専門職職員等の知識・技術の向上		市民及び公衆衛生上の危機に直面する国内の住人の安全	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	専門職職員等の人材育成に係る費用の負担 ・保健所内研修の外部講師等への報償費 ・外部機関の研修受講料及び資料代 ・研修・講習会等参加に係る旅費		・保健所内における専門職対象の研修会の開催 ・新興感染症に備えた実践型訓練の実施 ・外部機関研修(学会・研究会・講習会含む)への参加 (受講者 延べ340人)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	外部研修機関等に派遣することで、最新の情報や他自治体の状況などを知ることができた。 各分野において必要とされる知識及び技術の取得により、各事象における個別対応力が向上し、公衆衛生の維持または向上に寄与した。		業務における必要な専門知識や技術を得たことにより、市民の安全に寄与している。 公衆衛生上の危機等に備え、今後も計画的に専門職員の人材育成を進めていく必要性がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	6 目	1 細目	2 細々目	専門職員等研修費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		2,113		2,346		3,410		2,345		2,345
決算額(B)=(C)+(D)		866		1,111		1,558				
財源※	特定財源(C)	0		0		117		255		
	一般財源(D)	866		1,111		1,441		2,090		
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,176		3,481		3,988		4,835		4,835

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	公衆衛生分野では、新たな感染症に関する対策や検査技術などについて、最新の情報や技能の習得が保健所職員には求められており、外部機関への研修参加が必要となる。今後もオンラインの活用や、参加人数を精査し、研修内容も踏まえたうえ、適切な人材育成を引き続きおこなっていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	肝炎治療費助成事業				担当	保健部	
						疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6726	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、肝炎対策基本法					

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)
	肝炎は国内最大級の感染症であることから、肝炎に対する治療によって、その後の肝硬変や肝がんといったより重篤な病態への進行を防止するため、市民に対し医療費の助成、検査、陽性者へのフォローアップを行う		肝炎・肝がん・重度肝硬変患者の早期かつ適切な医療を促進することで、肝がんの罹患率の減少を図る
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)
	・肝炎治療医療費助成申請書類の受理(随時)、及び県への進達(1回/月) ・肝炎検査費用助成申請書類の受理、及び県への進達(1回/月) ・肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップ(2回/年)		・肝炎治療医療費助成受給者数:451件 ・肝炎検査費用助成申請書類の進達件数:30件 ・肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップ数:30件
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題
	・進達業務を滞りなく実施することで、医療費の軽減、生活の質の向上及び不安の解消に寄与した ・肝炎ウイルス検査陽性者に調査票を送付することで、現状の把握および医療機関への受診勧奨をすることができた		・国の肝がん罹患率は減少している ・引き続き、「肝炎対策基本指針」に基づき、肝硬変・肝がんへの移行者を減らすことを目標として、肝炎医療、肝炎ウイルス検査、診療体制、普及啓発などを推進する必要がある

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	フォローアップ事業フォロー数			指標・目標値の説明(算定式)	フォロー数÷対象者数×100(%)			
	単位	%	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00			
	実績値・達成状況	100.00	達成	100.00	達成	96.67	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	7 目	3 細目	1 細々目	肝炎治療費助成事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		224		166		225		281		281
決算額(B)=(C)+(D)		135		154		169				
財源※	特定財源(C)	135		154		169		280		
	一般財源(D)	0		0		0		1		
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		15,535		15,954		16,369		16,881		16,881

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
60 /60	引き続き医療費助成が行えるよう肝炎治療促進のための環境整備、肝炎ウイルス検査の促進、市民に対する正しい知識の普及啓発を実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	感染症予防対策事業				担当	保健部	
						疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6726	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	・感染症の予防と拡大防止を図るとともに、患者に対する適切な医療の提供を図ることにより、市民の健康を守る ・「予防計画」、「健康危機対処計画」に基づく業務の実施	・感染症の予防と拡大防止を図るとともに、患者に対する適切な医療の提供を図ることにより、市民の健康を守る ・訓練を実施することで、健康危機に対応できる人材を育成する	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・公費負担医療費の給付・感染症患者調査、訪問、相談 ・感染症患者の移送・感染症発生動向調査 ・感染症予防普及啓発・エイズ・性感染症検査、相談 ・新興感染症に備えた訓練の実施	・感染症発生届件数:238件 ・性感染症検査受検数:HIV364人、梅毒367人、クラミジア250人、B型肝炎246人、C型肝炎246人 ・新興感染症に備えた訓練の実施:実践型訓練1回、移送・防護服着訓練8回、他課・合同訓練2回	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・感染症発生動向調査により市民へ情報提供を行ったことで、注意喚起がされ、感染症対策を図るきっかけとなった ・感染症発生時は、速やかに調査を行い、感染拡大防止を図った	・新興感染症発生なし、その他感染症発生時には速やかな調査を行い、拡大防止に努めている ・「予防計画」「健康危機対処計画」に基づき、計画通りの訓練・研修を実施し、評価・見直しをしている。人員体制確保や業務効率化のため、訓練による人材育成を推進していく必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	実践型訓練の実施				指標・目標値の説明(算定式)	新興感染症に備えた実践型訓練回数					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		0.00		0.00		1.00		1.00		1.00		
実績値・達成状況		0.00		0.00		1.00		達成				
指標②	名称	性感染症通常検査予約数				指標・目標値の説明(算定式)	予約数÷予約枠数×100(%)					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		80.00		80.00		80.00		80.00		80.00		
実績値・達成状況		73.09	未達成	72.53	未達成	96.67	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	7 目	3 細目	2 細々目	感染症予防対策事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		2,126,904		510,327		217,818		26,744		26,744	
決算額(B)=(C)+(D)		2,052,968		453,720		202,301					
財源※	特定財源(C)	1,284,258		340,504		202,301		20,544			
	一般財源(D)	768,710		113,216		0		6,200			
概算人件費(E)		169,400		86,900		97,200		99,600		99,600	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	22.00	0.00	12.00	0.00	10.00	0.00	12.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,222,368		540,620		299,501		126,344		126,344	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	令和6年度に策定された「健康危機対処計画」は見直しを図り、人員体制確保や業務効率化、訓練等による人材育成を推進している。とくに訓練は、毎年、実施していく必要がある。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	精神保健福祉支援事業			担当	保健部 疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6748	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	「精神保健福祉法」、「自殺対策基本法」、「医療観察法」、「アルコール健康障害対策基本法」					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民の精神疾患の発症や重症化を予防する観点から、早期に介入し、精神的健康の維持、増進を図るとともに、精神障害または疑いのある者、メンタルヘルスに課題のある者も、地域で安定した生活ができるよう支援を行う	市民の精神疾患やメンタルヘルスに対する理解促進と精神障害の有無や程度に関わらず、誰もが地域の一員として安心した生活が送れる	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・精神保健福祉相談、専門相談 ・家族教室年2回、ひきこもり家族のつどい月1回 ・事例検討会年1回、こころの健康講座オンデマンド配信年2回、こころサポーター養成講座年2回 ・ゲートキーパー研修6回、普及啓発 ・精神障害者訪問支援強化事業・若年者早期相談支援事業	精神保健福祉相談5,710件、専門相談27件、家族教室延べ83人、ひきこもり家族のつどい延べ131人、事例検討会10人、こころの健康講座6,736回、こころサポーター養成講座80人、ゲートキーパー研修3,098人、精神障害者訪問支援強化事業利用者数51人、若年者早期相談支援事業利用者数302人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・家族や当事者が抱える問題の改善、解決 ・家族の病気に対する正しい知識と対処能力の獲得 ・支援者のメンタルヘルスに関する相談対応能力の向上 ・メンタルヘルスリテラシーの向上 ・精神的な健康の保持増進、疾病の発症予防、重症化予防の実現		・予防的視点を重視し、早期の介入をすることにより、精神疾患の発症や重症化を予防することに繋がっている ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進に向けて、メンタルヘルスリテラシーの向上を図るための取り組みを充実させる必要がある	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ゲートキーパー研修受講者数			指標・目標値の説明(算定式)	川口市自殺対策推進計画第2次【2028年までの目標値】8,000人(令和6年度で達成)令和7年度の目標値(新規採用職員数+ゲートキーパー研修受講者数)				
	単位	人	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		200.00		200.00		490.00		400.00		400.00
	実績値・達成状況	249.00	達成	290.00	達成	3,098.00	達成			
指標②	名称	相談支援			指標・目標値の説明(算定式)	相談支援件数(延べ件数):訪問、面接、電話、メール、精神保健福祉専門相談での相談				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		5,000.00		5,000.00		5,000.00		5,000.00		5,000.00
	実績値・達成状況	6,762.00	達成	6,310.00	達成	5,760.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4款	1項	7目	4細目	1細々目	精神保健福祉支援事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		47,431		50,124		50,628		53,002		53,002
決算額(B)=(C)+(D)		42,724		49,090		48,930				
財源※	特定財源(C)	31,627		32,112		33,572		36,714		
	一般財源(D)	11,097		16,978		15,358		16,288		
概算人件費(E)		84,700		86,900		89,100		91,300		91,300
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	11.00	0.00	11.00	0.00	11.00	0.00	11.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		127,424		135,990		138,030		144,302		144,302

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	誰もが地域の一員として安心して暮らすことができるよう、医療、保健、福祉、住まい、地域の助け合い、教育などが包括的に確保された地域ケアシステムの構築を目指し、それらの話し合いが持てる場を通じ重層的な連携による支援体制を整備していく。また、早期介入により発病予防、重症化予防に繋がり医療費の抑制、削減が期待できる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	予防接種事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	23	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	予防接種法、特定感染症検査等事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	予防接種法に基づく定期予防接種対象の市民、任意予防接種費用助成及び風しん抗体検査を希望する市民に対し、感染症の発病予防、病状の軽減、蔓延防止を目的に実施する。		予防接種を実施することで、感染症の発病予防、病状の軽減、蔓延防止し、市民が健康的に暮らすことができるようになること。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・定期予防接種の実施(ヒブ、小児肺炎球菌、B型肝炎、五種、四種、三種混合、ポリオ、BCG、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、ヒトパピローマウイルス、ロタウイルス、高齢者肺炎球菌・インフルエンザ・新型コロナウイルス) ・任意予防接種費用の助成(おたふく、風しん、帯状疱疹)、風しん抗体検査		・予防接種法に基づく定期予防接種のうち乳幼児期に接種するものについては90%を超える割合で接種が行われていた。 ・任意予防接種費用の助成においては、おたふくが7,007件・任意風しんが662件・帯状疱疹が12,651件実施された。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	予防接種を実施することにより、感染症に罹患したものの重症化及び感染症の蔓延を防止することができた。 また、風しん抗体検査を行うことにより、先天性風しん症候群の予防につながった。		予防接種法に基づく定期接種や、任意予防接種費用助成及び風しん抗体検査は、希望する市民が確実にいけるよう周知できている。 任意予防接種における帯状疱疹の助成は、見込みより多く実施された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	BCG予防接種の接種率				指標・目標値の説明(算定式)	定期予防接種対象者数を接種者数で除した数値							
	単位	%	指標の種別	結果										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00				
実績値・達成状況		98.60	未達成	99.40	未達成	99.30	未達成							
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別											
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
実績値・達成状況														

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	2 細々目	予防接種事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,840,817		1,879,475		3,416,771		2,448,646		2,448,646	
決算額(B)=(C)+(D)		1,715,419		1,784,286		3,117,290					
財源※	特定財源(C)	22,948		21,316		349,816		5,675			
	一般財源(D)	1,692,471		1,762,970		2,767,474		2,442,971			
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,730,819		1,800,086		3,133,490		2,465,246		2,465,246	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
58 ／60	・今後も定期予防接種の対象者等へ適切な周知に努めていく。 ・令和7年度から帯状疱疹ワクチンの定期接種が始まったが、すでに帯状疱疹ワクチン任意予防接種費用助成を行っていることもあり、市民が混乱しないよう適切な案内を行っていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	妊産婦健康診査等事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	9	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	母子保健法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	妊婦に対する健康診査の望ましい基準に則り、妊婦、産婦、その妊婦が出産した新生児を対象に健康診査費用の一部を助成。		・妊婦が安心安全な出産のために必要な健康診査が受診でき、産後うつへの予防や新生児への虐待予防を図る。 ・聴覚障害を早期発見することにより、適切な支援を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	妊産婦並びに新生児に対する健康の保持増進と、身体 の早期発見に努めると共に、産後うつへの予防と新生児 に対する虐待予防を図る。		健康診査 46,583件 超音波検査 14,344件 HBS抗原検査 3,826件 HIV抗体検査 3,819件 産婦健診 3,540件 新生児聴覚スクリーニング検査 3,517件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなっ たか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況 及び課題	
	1、妊産婦が妊婦健康診査、産婦健康診査及び新生児聴 覚スクリーニング検査業務委託医療機関に助成券を提出 することにより、公費助成を実施。2、委託契約を実施 していない医療機関等で妊婦健康診査、産婦健康診査 及び新生児聴覚スクリーニング検査を受診した場合は、 償還払いを実施。結果、妊産婦および新生児の健康 の保持増進につながった。		公費助成を実施することで、経済的負担の軽減を図 ることが出来、母子の健康補助増進と、身体 の異常の早期発見に努めることが出来た。 令和6年度助成券交付者数は4,486人。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	一人当たりの妊産婦の受診回数				指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県母子保健データ(受診した数÷助成券を受け取った妊婦の数)を基に算出(*平成30年度より産後健診を追加)							
	単位	回	指標の種別	結果										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
		12.70		12.44		12.44		12.44		12.44				
	実績値・達成状況	11.17	未達成	11.12	未達成	11.17	未達成							
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別											
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
	実績値・達成状況													

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	3 細々目	妊産婦健康診査等事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		465,089		413,657		405,351		415,063		415,063	
決算額(B)=(C)+(D)		455,748		411,651		397,094					
財源※	特定財源(C)	22,631		12,235		9,375		9,237			
	一般財源(D)	433,117		399,416		387,719		405,826			
概算人件費(E)		6,930		10,270		10,530		10,790		10,790	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00	1.30	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	462,678		421,921		407,624		425,853		425,853	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
56 ／60	母子健康手帳別冊(助成券)配布時、妊産婦健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査受診の必要性を説明し周知を徹底し、安心安全な出産につなげる。また、妊産婦健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査受診時に、地域で支援が必要な妊産婦に対しては、関係機関と連携し切れ目ない支援を行っていく。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	乳幼児健康診査事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	母子保健法・川口市3歳児健康診査実施要領					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見するとともに、保護者の不安を軽減するため適切な指導・育児支援を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。		乳幼児健康診査事業の受診率の向上により、疾病や異常を早期に発見するとともに、保護者の不安軽減を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①3・4か月児健診(3か月～5か月未満)、②10か月児健診(10か月～12か月未満)、③1歳6か月児健診(1歳6か月～2歳未満)、④1歳6か月児歯科健診(1歳6か月～2歳未満)、⑤3歳児健診(3歳6か月～4歳になる月)を実施。①～③は川口市医師会、④は川口歯科医師会に委託し個別健診を実施。⑤は市が集団健診を実施。		・3・4か月児健康診査:受診率95.1% ・10か月児健康診査:受診率91.9% ・1歳6か月児健康診査:受診率95.6% ・1歳6か月児歯科健康診査:受診率68.8% ・3歳児健康診査:受診率92.5%	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・3・4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、1歳6か月児歯科健康診査、3歳児健康診査の受診率向上		乳幼児健診の受診率は向上しており、乳幼児の心身の発達等を促すとともに、保護者への相談指導を通して、育児不安の軽減を図り、適切な対応ができるよう支援することができた。しかし、受診率が目標に達していないことが課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	3、4か月児健康診査受診率				指標・目標値の 説明(算定式)	埼玉県全市町村の平均受診率より算出(埼玉県の母子保健より)					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		96.60		96.60		96.60		96.60		96.60		
	実績値・達成状況	94.40	未達成	93.50	未達成	95.10	未達成					
指標②	名称	3歳児健康診査受診率				指標・目標値の 説明(算定式)	埼玉県全市町村の平均受診率より算出(埼玉県の母子保健より)					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		94.10		94.10		94.10		94.10		94.10		
	実績値・達成状況	90.20	未達成	84.80	未達成	92.50	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4款	1項	8目	2細目	6細々目	乳幼児健康診査事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		147,364		132,957		136,178		134,010		145,529	
決算額(B)=(C)+(D)		132,998		123,518		124,668					
財源※	特定財源(C)	2,229		221		121		121			
	一般財源(D)	130,769		123,297		124,547		133,889			
概算人件費(E)		100,100		26,070		26,730		34,030		34,030	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	13.00	0.00	3.30	0.00	3.30	0.00	4.10	0.00
										4.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		233,098		149,588		151,398		168,040		179,559	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など			今後の実施方向性	
56 /60	受診率の低い外国人に対する周知や健診問診票・通知文の外国語版作成等の対応を強化するとともに、受診勧奨通知や幼稚園・保育所等に受診勧奨ポスターの掲示を依頼し、受診率向上を目指す。			翌年度	現状維持で実施
				翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	がん検診事業			担当	保健部 健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-1135	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	41	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡率を低下させるため、市民に対し各種がん検診を実施する。	より多くの市民ががん検診を受診し、がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡率の低下を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	20歳以上の女性市民を対象に子宮頸がん検診 40歳以上の女性市民を対象に乳がん検診 40歳以上の市民を対象に、胃がんレントゲン検診、肺がん検診、大腸がん検診 50歳以上の市民を対象に胃がん内視鏡検診 50・55・60・65・70・75歳の男性市民を対象に前立腺がん検診	【検診名・受診者数・受診率】子宮頸がん検診・24,992人・13.7%、乳がん検診・11,404人・12.0%、胃がん内視鏡検診・8,055人・5.6%、胃がんレントゲン検診・1,710人・0.5%、肺がん検診・31,784人・8.9%、大腸がん検診・37,444人・10.4%、前立腺がん検診・1,280人・5.3%	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	以下のとおりがんが見つかった。 子宮頸がん検診:4人、乳がん検診:44人、肺がん検診:12人、胃がんレントゲン検診:0人、大腸がん検診:97人、胃がん内視鏡検診:20人、前立腺がん検診:12人	がん検診を実施したことで、がんの早期発見・早期治療につながった。がん検診の受診率は目標には達していないが、毎年度増加傾向にある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	子宮頸がん検診受診率				指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		前年値を上回る		前年値を上回る		前年値を上回る		前年値を上回る		前年値を上回る		
	実績値・達成状況	13.23	—	13.36	—	13.72	—					
指標②	名称	乳がん検診受診率				指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		前年値を上回る		前年値を上回る		前年値を上回る		前年値を上回る		前年値を上回る		
	実績値・達成状況	11.79	—	11.65	—	12.00	—					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	7 細々目	がん検診事業			
年度			令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)			816,350		851,024			918,870		841,738		962,359	
決算額(B)=(C)+(D)			814,408		839,845			897,530					
財源※	特定財源(C)		14,216		13,919			13,910		19,113			
	一般財源(D)		800,192		825,926			883,620		822,625			
概算人件費(E)			36,190		47,400			42,120		41,500		41,500	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	4.70	0.00	6.00	0.00	5.20	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			850,598		887,245			939,650		883,238		1,003,859	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に受診率が低下していたが、受診率は増加傾向にある。今後も、健康な今こそがん検診を受診する機会であることを広く周知することで、受診率向上に努めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	健康診査事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	41	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	疾病の予防および早期発見・早期治療を目的とし、健康診査、肝炎ウイルス検診、訪問歯科健診、成人歯科健診・歯科ドック、口腔がん検診、簡易血糖検査を実施する。	疾病の予防および早期発見・早期治療を促すことで、健康寿命の延伸及び将来的な医療費の削減を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	健康診査(40歳以上の生活保護受給者を対象)、肝炎ウイルス検診(20歳以上の未受診者を対象)、訪問歯科健診(在宅で寝たきりの高齢者、障害児・者を対象)、成人歯科健診・歯科ドック(18歳以上対象)、口腔がん検診(30歳以上対象)、かかりつけ薬局強化事業(簡易血糖検査)(30歳以上対象)	・R6健康診査の受診者:916人 ・R6肝炎ウイルス検診の受診者:2,906人 ・R6訪問歯科健診の受診者:78人 ・R6成人歯科健診の受診者:3,892人、歯科ドックの受診者:1,518人 ・R6口腔がん検診の受診者:1,904人 ・R6かかりつけ薬局強化事業(簡易血糖検査)の測定者:341人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	疾病の早期発見・早期治療、また、受診を通して自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となった。	・各種検(健)診の受診者数は、横ばいもしくは低下傾向である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	8 細々目	健康診査事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		75,175		77,051		81,947		75,499		72,280
決算額(B)=(C)+(D)		73,257		69,627		66,229				
財源※	特定財源(C)	11,182		9,564		10,767		10,637		
	一般財源(D)	62,075		60,063		55,462		64,862		
概算人件費(E)		10,010		12,640		11,340		9,960		9,960
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.30	0.00	1.60	0.00	1.40	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		83,267		82,267		77,569		85,459		82,240

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	生活保護受給者対象の健康診査は、関係課の協力により受診者が微増傾向にある。引き続き、受診後の健康相談事業を実施し生活習慣病等重症化予防に取り組むとともに、受診者数増加に向けて、受診勧奨や周知方法を検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	成人健康づくり事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	57	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	健康増進法・健康増進事業実施要領・川口市がん患者ウィッグ購入費助成金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	健康増進法に基づき、市民の健康の保持増進に資するため、疾病の予防、健康寿命の延伸等を目指した保健事業を実施、壮年期からの有効な健康づくりに取り組む。また、がん患者の社会参加を支援しQOLの向上を図る。		各種健康教育、健康相談、Web利用型自己採血検査事業を実施し、健康に関する正しい知識の向上と生活習慣の改善により、健康寿命の延伸を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	健康教育 健康相談 Web利用型自己採血検査事業 がん患者ウィッグ・胸部補整具購入費助成(上限20,000円)		健康教育:100回 参加者数4,480人 健康相談:12回 参加者数384人 Web利用型自己採血検査事業:25歳～39歳を対象に119件の検査を実施 がん患者ウィッグ助成:213件 がん患者胸部補整具助成:37件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・健康相談や健康教育を通して自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、健康に対する意識の向上につながった。 ・がん患者のQOLの向上につながった。		・健康相談は指標②の目標値を達成している。 ・健康教育では、疾病予防を目的としているが、目標値は達成しておらず、参加者はリピーターや高齢者が多いことが課題である。 ・がん以外の疾病によるウィッグ・胸部補整具の助成を望む声がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康教育の延べ参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	健康教育の延べ参加者数(人) ※各教室が定員を満たした場合の延べ参加者数(各教室の定員の合計)とした。				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		5,000.00		5,000.00		5,000.00		5,000.00		5,000.00	
	実績値・達成状況	3,638.00	未達成	4,282.00	未達成	4,480.00	未達成				
指標②	名称	健康相談の延べ参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	健康相談の延べ参加者数(人) ※各種健康相談の来場予定数の合計とした。				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		200.00		200.00		200.00		400.00		400.00	
	実績値・達成状況	88.00	未達成	122.00	未達成	384.00	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	9 細々目	成人健康づくり事業				
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)			4,340				4,345		6,724		2,157		1,945	
決算額(B)=(C)+(D)			3,270				4,106		6,560					
財源※	特定財源(C)		246				329		1,655		345			
	一般財源(D)		3,024				3,777		4,905		1,812			
概算人件費(E)			39,270				20,540		21,060		17,430		17,430	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.10	0.00	2.60	0.00	2.60	0.00	2.10	0.00	2.10	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			42,540				24,646		27,620		19,587		19,375	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	ICTを活用した健康教育や健康相談を取り入れ、実施内容・会場・日時等の工夫により、参加者数の増加を目指す。また、集団で行う事業については、民間と協働で実施することにより、市民が利用しやすい事業を展開する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	歯と口の健康フェスティバル事業				担当	保健部	
						健康増進課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1135	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	川口市歯科口腔保健の推進に関する条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	乳児期・学童期・思春期・成人期・高齢期に至る全ての年齢で、う歯や歯周病の予防、口腔機能の維持を目的とした正しい歯科保健知識の普及啓発を行い、生涯を通じた口腔保健の向上を図る。		歯と口の衛生週間に合わせ、市民に対し、歯科保健に関する啓発と口腔ケアの知識に関する体験・指導・相談・周知することにより、歯の健康に対する関心を高める。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	令和6年6月2日(日) 会場:川口市立西公民館 ・歯科医師、歯科衛生士の講話・クイズ ・歯の健康、ブラッシング、栄養などに関する相談 ・指型石こう模型づくり ・図画ポスター・標語コンクールの表彰 等		来場者:569名(うち従事者101名) 生涯にわたり健康で丈夫な歯を保てるよう広く市民に啓発することが出来た。 ・実施主体:市、歯科医師会、教育委員会 ・実施協力:歯科衛生士会、歯科技工士会	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・適切な歯の自己管理方法が普及した。 ・子供から高齢者まで幅広い世代が、クイズや講演などを通じて楽しみながら歯の健康について関心を深めた。		・来場者の満足度は高いが、歯科に関する受診率向上には至っていない。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	2 細目	11 細々目	歯と口の健康フェスティバル事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,492		1,487		1,496		1,362		1,094
決算額(B)=(C)+(D)		1,123		1,198		970				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,123		1,198		970		1,362		
概算人件費(E)		15,400		3,950		4,860		4,980		4,980
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	0.50	0.00	0.60	0.00	0.60 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,523		5,148		5,830		6,342		6,074

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	令和6年度は、リア会場が使えないため、川口市立西公民館を全館貸し切りにして開催した。リア会場の施設使用料等の支出がなく、公民館使用料金を減免できたことで、費用が削減できた。今後、事業内容を見直し、新たな取り組みを模索する。		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	こども家庭センター母子保健事業				担当	保健部	
						地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	256-1120	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関の設置。	妊産婦、乳幼児の健康保持・増進に関する包括的な支援、こどもと子育て家庭の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	個々の家庭の課題・ニーズに応えるために、家庭支援事業や母子保健サービス、その他の多様なサービスや地域い資源を組み合わせ、サポートプランとして必要な支援内容を組み立てた。	・電話相談23,905件、面接4,906件、家庭訪問10,733件 ・サポートプラン作成件数 247件(前年度比+2.7倍) ・合同ケース会議開催回数 9地区×5回	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
こども家庭センターに相談支援機能を一本化したことにより、妊産婦、子育て世帯、こどもへの包括的な支援を円滑に行えるようになった。		・妊産婦、こどもやその家庭のニーズや課題を母子保健・児童福祉それぞれの専門性を活かし一体的に支援することにより、切れ目なく、適切な支援に繋がっている。 ・妊婦健診未受診者や未把握の飛び込み出産ケースも一定数見られる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	1 項	1 目	50 細目	17 細々目	母子健康手帳交付・相談支援事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		0		0		29,704		68,211		65,346
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		24,435				
財源※	特定財源(C)	0		0		20,262		56,842		
	一般財源(D)	0		0		4,173		11,369		
概算人件費(E)		0		0		25,389		44,089		44,089
		従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	2.99	0.30
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		0		49,824		112,300		109,435

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	未把握のケースも一定数みられることから、身近な相談窓口としての周知に加え、医療、福祉、教育等の関係機関との密なる連携を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	母子健康手帳交付・相談支援事業				担当	保健部	
						地域保健センター	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-256-1120	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	9	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	母子保健法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	健康に関する相談や、妊娠期から子育て期の母子の健康や育児に関する様々な悩みに円滑に対応するため、母子手帳交付と、保健師等が専門的に相談支援等を実施し、切れ目のない支援体制を構築する。		・妊娠中の悩みを把握し、妊娠期から妊婦や家族を支援することで、産後うつ予防や虐待防止につなげる。 ・乳幼児期及び児童思春期の発達課題を明らかにし、関係機関と連携して支援につなげる。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・妊娠届出のあった市民に母子健康手帳を交付した。 ・妊娠中の悩みや不安を把握し、支援を行った。 ・低所得妊婦の初回産科受診料助成を開始し、支援を強化した。 ・児童思春期における発達や情緒面での課題がある児及びその保護者に対し相談事業を実施した。		・母子健康手帳交付 3,951件 ・低所得妊婦初回産科受診料支援事業 8件 ・親と子の心と発達の相談事業(幼児相談:28件、医師相談:5件、心理士相談:23件)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・育児に対する不安を軽減し、自信をもてるような支援を受けることができた。 ・妊娠期から子育て期にある市民が、出産・育児に対する不安の軽減につながった。		・安心して育児ができる環境を構築するため、適切なタイミングで必要な情報を受け取れるよう、情報発信の方法を見直す。 ・専門職員の相談支援に必要な技術のスキルアップを図る。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	妊娠届出者数に占める専門職の面談実施率				指標・目標値の説明(算定式)	こども家庭センターで実施した面談数÷妊娠届出総数					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		0.00		100.00		100.00		100.00		100.00		
	実績値・達成状況	0.00		92.40	未達成	104.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	8 目	3 細目	3 細々目	母子健康手帳交付・相談支援事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		465,089		35,108		6,225		4,181		3,618	
決算額(B)=(C)+(D)		455,748		32,397		5,719					
財源※	特定財源(C)	22,631		24,775		201		192			
	一般財源(D)	433,117		7,622		5,518		3,989			
概算人件費(E)		7,110		49,777		47,520		21,829		21,829	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	6.24	0.13	2.60	0.05	2.63	0.10
										2.63	0.10
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		462,858		82,174		53,239		26,010		25,447	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	・妊娠早期に最寄りの保健ステーションで妊婦面談を実施することで、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談体制を構築することができた。今後母子手帳アプリの導入について検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	食品衛生事業				担当	保健部	
						食品衛生課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-7889	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	食品衛生法、健康増進法、食品表示法、食品衛生法施行条例（県条例）、川口市食品衛生検査施設の設備及び職員の配置の基準を定める条例 等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景（誰に・何をしたいのか・実施の背景）	事業のめざす姿（事業が目指す最終的な成果）	
	市民の健康保護のために、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防ぐとともに市民向けに食の安全に関する普及啓発を行い、食の安全に対する意識を高める。また、市民の健康増進のために、給食施設等に指導助言を行う。	食品等事業者に対する監視指導や市民からの相談対応等を通じて、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止するとともに、食中毒の予防啓発等を実施し、食の安全に対する意識を高め、市民の健康保護と増進を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション（当該年度に何を実施したか）	②アウトプット（①を実施した結果・実績）	
	①法令等に基づく許可及び届出受理②食品衛生監視指導計画の策定と実施③食品等事業者への監視指導④食品等の収去等検査⑤食中毒等の相談及び指導並びに予防啓発⑥特定給食施設等への指導助言⑦食品表示（衛生及び保健事項）に係る指導及び啓発⑧食品等事業者への研修の実施⑨市民に対する啓発等の実施	①許可及び届出受理1,180件②策定、公表及び実施③監視指導実施施設数（夏期一斉監視184件、駅前一斉監視352件、年末一斉監視237件、通常監視1,032件）④検査検体数164検体⑤相談・指導261件、西川口駅前とたたら祭りにて食中毒予防キャンペーンを実施⑥指導助言664件⑦指導・啓発35件⑧14回実施⑨19回実施	
	③アウトカム（①②をしたことにより対象はどうなったか）	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・飲食に起因する衛生上の危害発生の抑制 ・市民の健康保護と健康増進に寄与 ・市民の食の安全に対する意識向上		・計画に対して概ね順調に事業を行うことができた。 ・食品等事業者に衛生管理手法を検証する機会を持たせることで、衛生管理の向上を図ることができる。 ・市民の食の安全に対する更なる意識向上のため、幅広い世代に向けた食中毒予防に係る普及啓発及びリスクコミュニケーションの機会を設ける。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	監視指導（食品衛生事業）			指標・目標値の説明（算定式）	食中毒対策のため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	1,300.00	達成	1,200.00	達成	1,400.00	達成	1,400.00	達成	1,400.00
指標②	名称	食品検査			指標・目標値の説明（算定式）	市内の食品の安全性を確保するための検査の検体数。				
	単位	検体	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	177.00	未達成	167.00	未達成	164.00	達成	152.00	達成	152.00

4 年度別事業費（単位：千円）

予算費目			川口市一般会計		4 款	1 項	10 目	1 細目	2 細々目	食品衛生事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			4,047		4,287		4,620		5,578		4,470		
決算額(B)=(C)+(D)			2,518		2,467		2,840						
財 源 ※	特定財源(C)		2,518		2,467		2,840		5,578				
	一般財源(D)		0		0		0		0				
概算人件費(E)			84,700		110,600		105,300		116,200		116,200		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	11.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00	14.00	0.00	14.00	0.00
総事業費〔(A)又は(B)〕+(E)			87,218		113,067		108,140		121,778		120,670		

※評価年度以前は決算額（B）の財源を、評価年度の翌年以降は予算額（A）の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策（上位目的）への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	食品等事業者の製品等の安全性を確保するため、HACCPに沿った衛生管理の取組状況を確認し、指導及び助言を行うことで自主衛生管理体制の更なる向上を図る。市民の食の安全に対する意識向上のため、幅広い世代に向けた食中毒予防の普及啓発及びリスクコミュニケーションの機会を設けるにあたりデジタルツールの活用を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	食肉衛生検査事業				担当	保健部	
						食品衛生課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-224-6995	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、川口市と畜場の設置場所及び構造設備の基準等を定める条例 等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	食肉等を起因とする衛生上の危害の発生を防止するために、食用に供するために行う獣畜等の処理を適正に確保し、獣畜等を検査し、市民の健康の保護を図る。		と畜場、認定小規模食鳥処理場等におけるHACCPに沿った衛生管理に対して適切な指導助言を行うことで施設の衛生管理を向上させ、食肉の安全を確保することにより、最終的な消費者である市民の健康保護を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①と畜検査申請に基づくと畜検査の実施、と畜場の施設監視 ②と畜検査時に肉眼所見等のみでは判断が難しいものに対して行う精密検査 ③と畜場、認定小規模食鳥処理場のHACCPに沿った衛生管理の推進 ④認定小規模食鳥処理業者等の監視、報告、届出の受理		①検査頭数 5,737頭、施設監視 212件 ②精密検査(微生物:7頭、病理学:17頭、理化学:4頭)実施 ③枝肉ふき取り等検査 120頭、従事者向け衛生講習会 1回 ④認定小規模食鳥処理場等施設監視件数 11件、確認状況報告書等 23件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・と畜場、認定小規模食鳥処理場等の施設の衛生状態及び従業員の衛生管理に対する意識の向上 ・食肉等を起因とする衛生上の危害の発生防止による市民の健康保護に寄与		・計画に対して概ね順調に事業を行うことができた。 ・特にと畜場では外国人従業員が増加しているため、日々の施設監視や衛生講習会等の機会を捉えて丁寧かつ分かりやすい指導を行うこと等によって施設の衛生管理向上に努める。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	と畜検査			指標・目標値の説明(算定式)	食用に供するために行った獣畜の検査頭数。				
	単位	頭	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	6,000.00		6,000.00		6,000.00		6,000.00		6,200.00
指標②	名称	監視指導(食肉衛生検査事業)			指標・目標値の説明(算定式)	食肉・食鳥肉の安全を確保するため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	200.00		200.00		200.00		200.00		200.00
指標③	名称	と畜検査			指標・目標値の説明(算定式)	食用に供するために行った獣畜の検査頭数。				
	単位	頭	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	5,605.00	未達成	5,791.00	未達成	5,737.00	未達成			
指標④	名称	監視指導(食肉衛生検査事業)			指標・目標値の説明(算定式)	食肉・食鳥肉の安全を確保するため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	200.00		200.00		200.00		200.00		200.00
指標⑤	名称	と畜検査			指標・目標値の説明(算定式)	食用に供するために行った獣畜の検査頭数。				
	単位	頭	指標の種別	活動						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	213.00	達成	208.00	達成	223.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	10 目	2 細目	1 細々目	食肉衛生検査事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		13,734		14,205		17,019		15,910		16,218
決算額(B)=(C)+(D)		11,176		12,795		15,262				
財源※	特定財源(C)	2,858		3,277		3,175		3,342		
	一般財源(D)	8,318		9,518		12,087		12,568		
概算人件費(E)		53,900		55,300		56,700		58,100		74,700
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	7.00	0.00	7.00	0.00	7.00	0.00	9.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		65,076		68,095		71,962		74,010		90,918

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	事業者が行うHACCPに沿った衛生管理の実施状況について適切かつ効率的に監視指導を行うことで衛生管理に対する意識を底上げし、施設全体の衛生管理の更なる向上に努める。事業実施にあたり、使用する消耗品等の内容を精査することでコスト削減も検討する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	衛生検査事業				担当	保健部 衛生検査課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-5348	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-① 保健・予防活動の推進					
根拠法令等	感染症法、食品衛生法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	各種検体検査を実施することにより、疾病の拡大防止及び食品衛生の向上を目的とする。		行政ニーズに対応し、疾病の拡大防止や食品衛生の向上に寄与する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	感染症病原体等検査 3類感染症接触者健診 特定感染症検査(外部委託) 食品等収去検査 食中毒検体検査		各検査の実績 感染症病原体等検査 330検体 3類感染症接触者健診 190検体 特定感染症検査 254検体 食品等収去検査 164検体 食中毒検体検査 38検体		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	各種検体検査を適切に実施したことで、行政措置の迅速化や感染拡大の早期防止に貢献した。		感染症の発生は常に一定のリスクとして存在しており、本事業は終了時期を設定することはできないが、現状、限られたリソースを最大限に活用して感染拡大防止等に寄与している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	11 目	1 細目	2 細々目	衛生検査事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		88,316		89,743		81,428		78,828		79,976
決算額(B)=(C)+(D)		79,392		68,408		79,067				
財源※	特定財源(C)	19,746		14,732		13,466		17,092		
	一般財源(D)	59,646		53,676		65,601		61,736		
概算人件費(E)		84,700		86,900		72,900		74,700		74,700
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	11.00	0.00	11.00	0.00	9.00	0.00	9.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)			164,092		155,308		151,967		153,528 154,676

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	感染症対策に伴う検査等、行政ニーズの変化に対応するため、効率的な検査方法等、最新の情報を収集し、検査の質の維持・向上を図る。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	小児夜間等救急診療事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、小児救急医療施設運営費補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	休日や夜間における小児救急患者に対応する。 乳幼児を持つ保護者にホームケアの啓発を行うことで、不要不急の受診を減らし、小児医療現場のひっ迫の防止を図る。		安定した医療サービスなどを提供することで、安心して医療を受けることができる体制を強化する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	○小児夜間等救急診療 こども夜間救急診療所で初期救急の診療をするほか、こども夜間救急診療所の診療終了後～翌8時までの初期救急、平日・土曜18時～翌8時、日曜・祝日・休日・年末年始の8時～翌8時の二次救急の診療を市内の3病院に委託している。 ○講座…小児医療講座を年4回開催。		○小児救急等救急診療 4,230人(内、こども夜間1,540人)が受診。 ○講座 63人が参加。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	夜間や休日などでも診療を受けられる体制を確保したことで、安定した医療サービスを提供できた。 また、啓発講座を実施したことで、乳幼児の保護者へ適切なホームケアについての認識を深めることができた。		通年で受診できる医療体制の構築はできている。 一方で、医療現場への負担を軽減できるよう継続的に子を持つ保護者へ働き掛けていく必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	パパ・ママのための小児医療講座参加者満足度				指標・目標値の説明(算定式)	参加者アンケートにおいて「(当講座内容が)役立つ」「まあまあ役立つ」と回答した割合					
	単位	%	指標の種別	成果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		80.00		80.00		80.00		80.00		80.00		
	実績値・達成状況		100.00	達成	100.00	達成	95.24	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	3 細々目	小児夜間等救急診療事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			151,241				155,737	153,234		158,327		158,327	
決算額(B)=(C)+(D)			149,187				147,980	147,826					
財源※	特定財源(C)		35,916				40,300	35,027		41,682			
	一般財源(D)		113,271				107,680	112,799		116,645			
概算人件費(E)			9,240				9,480	9,720		9,960		9,960	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00
総事業費〔(A)又は(B)〕+(E)			158,427				157,460	157,546		168,287		168,287	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
52 ／60	こども夜間救急診療所の受診者は、昨年度より減少した。川口市の小児人口の減少率よりも減少率が多く、絶対的な小児医療のニーズが縮小したというよりも受診する必要がある状態だったと考えられ、引き続き安心して医療を受けられる体制の維持に努めるほか、医療現場への負担の軽減を目指して市民向けの啓発を継続する。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	在宅当番医制事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	40	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	日曜・祝日・休日・年末年始の急な病気や怪我などの際に、医療機関を受診できる体制を確保する。		安定した医療サービスなどを提供することで、安心して医療を受けることができる体制を強化する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、川口市医師会に所属している協力医療機関による、1日4医療機関(病院・内科・小児科・その他)の初期救急診療体制を整えた。		診療実施日数:72日 年間受診者数:12,786人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	一般的な医療機関が診療をしていない日曜・祝日等に、急な病気や怪我でも受診できることで、市民の安心につながった。 また、初期救急を受診できることによって、二次救急への不要不急の受診を減らし、負担の軽減につながった。		通年で必ず受診できる医療機関があるという体制は、市民の安心につながっている。 一方で、協力医療機関の負担も大きいと、体制の維持について検討して必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	1 細々目	在宅当番医制事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		23,311		23,606		23,373		23,668		23,668
決算額(B)=(C)+(D)		23,309		23,503		23,309				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	23,309		23,503		23,309		23,668		
概算人件費(E)		1,386		1,422		1,458		1,494		1,494
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		24,695		24,925		24,767		25,162		25,162

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	今後も市民ニーズを鑑みながら、医療体制の整備・維持を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	在宅歯科診療事業				担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	61	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	日曜・祝日・休日・年末年始に、急な歯科患者を受診できる体制を確保する。		安定した医療サービスなどを提供することで、安心して医療を受けることができる体制を強化する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、川口歯科医師会に所属している協力医療機関による、1日2医療機関の初期救急診療体制を整えた。		診療実施日数:72日 年間受診者数:579人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	一般的な医療機関が診療をしていないしていない日曜・祝日等に、急な歯科疾病が生じても受診できることで、市民の安心につながった。		通年で必ず受診できる医療機関があるという体制は、市民の安心につながっている。 一方で、協力医療機関の負担も大きいため、体制の維持について検討して必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	2 細々目	在宅歯科診療事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		11,131		11,272		11,127		11,272		11,272
決算額(B)=(C)+(D)		11,022		11,123		11,123				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	11,022		11,123		11,123		11,272		
概算人件費(E)		1,386		1,422		1,458		1,494		1,494
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		12,408		12,545		12,581		12,766		12,766

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
46 ／60	今後も市民ニーズを鑑みながら、医療体制の整備・維持を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	病院群輪番制運営事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	55	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市病院群輪番制運営事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	日曜・祝日・休日・年末年始の8時から18時(以下「休日」という。)&及び全日の18時から翌日の8時(以下「夜間」という。))にて、救急搬送等の受入れ病院を確保することで、市民の安全・安心に寄与する。		市民が、休日や夜間に診療(特に入院を要するもの)の必要性がある状態になった際に、救急車及び初期救急医療施設からの転送重症患者の受入等を実施する体制(以下「第二次救急医療体制」という。))を確保する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)第1条に基づき埼玉県知事の認定を受け、病院群輪番制事業に協力申請のあった12医療機関に対して、補助金を交付した。		休日及び夜間における、第二次救急医療体制を確保することができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	市民が、休日や夜間において入院が必要な状態になった際にも、必要な医療資源にアクセスすることが可能になった。		病院群輪番制参加医療機関は、医師等各病院の規模が異なるため救急搬送受入患者数のばらつきが見られる。受入患者数のばらつきの改善は難しいが、参加医療機関に対し、可能な限りの搬送受入れをお願いしていく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	4 細々目	病院群輪番制運営事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		31,045		31,187		31,045		31,116		31,116
決算額(B)=(C)+(D)		31,044		31,187		31,044				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	31,044		31,187		31,044		31,116		
概算人件費(E)		2,695		2,765		2,835		2,905		2,905
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		33,739		33,952		33,879		34,021		34,021

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	補助金の事務処理において電子申請システムを活用し、業務の効率化を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	外国人未払医療費対策事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱、川口市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより、救急医療体制の円滑な運営に資する。		救急医療体制の充実を図ること。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	対象医療費、入院時食事療養費のうち未収納金の補助を行った。		補助金を交付した件数:3件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより健全な病院経営に寄与し、地域救急医療体制を維持することができた。		外国人が増加傾向にある中、市内には仮放免者など、在留資格のない外国人(健康保険に加入できない外国人)も多く、急性期の傷病による救急医療を受けた一部の外国人の医療費未収金により、医療機関の負担も増加している。医療機関は「応召義務」により診療を拒否できず、医療機関の努力だけでは、未収金の回収は困難な状況である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	補助金交付件数(外国人未払医療費)			指標・目標値の説明(算定式)	補助金を交付した件数(人数)				
	単位	件	指標の種別	結果		目標設定がなじまない事業であるため実績のみとする				
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	—	—	2.00	—	3.00	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	5 細々目	外国人未払医療費対策事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			0		750		780		1,500		840		
決算額(B)=(C)+(D)			0		750		780						
財源※	特定財源(C)		0		375		390		750				
	一般財源(D)		0		375		390		750				
概算人件費(E)			385		632		648		415		415		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			385		1,382		1,428		1,915		1,255		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 ／60	安定的な救急医療体制を確保するため未収金の一部を補助する一方で、補助金交付対象の医療機関に対し、積極的な未収金の回収に努めるよう求めていくとともに、県や国に対し、未払医療費の負担金の創設等について要望していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	公の医療機関運営費補助事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	25	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	特別交付税に関する省令、川口市補助金等交付規則、川口市公的医療機関運営費補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市域全体の地域医療体制の充実及び医療水準の確保し、市民の健康増進と医療福祉の向上を図る。		安定した医療サービスなどを提供することで、安心して医療を受けることができる体制を強化する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	「特別交付税に関する省令」に基づき、補助金の基準額を算定し、予算の範囲内の額を市内公的医療機関に交付した。		交付医療機関数:1医療機関 交付金額:162,731,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	採算性の低い診療分野が維持されるなど、公的医療機関としての機能が維持された。		診療科数や医療水準の維持をすることで市域内で多くの疾病に対応でき、市民が医療を受けやすい環境を整えることができる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	6 細々目	公的医療機関運営費補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		163,868		163,868		162,731		162,731		162,731
決算額(B)=(C)+(D)		163,868		163,868		162,731				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	163,868		163,868		162,731		162,731		
概算人件費(E)		385		395		405		415		415
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		164,253		164,263		163,136		163,146	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	採算性の低い診療科の採算性が、短期間で改善傾向に移るとは考えにくく、市民の健康増進と医療福祉の向上のためには継続的に支援をしていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	済生会川口看護専門学校補助事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	54	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口看護専門学校補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	看護師を養成している看護専門学校への補助により、多くの卒業生に川口市内の医療機関に就職してもらい、看護師不足を解消する。		市民が安心して医療を受けることができる体制を強化する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	看護師育成に必要な人件費、事業費及び事務費等に対して補助金を交付した。		・補助額の合計:4,270,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・令和6年度の卒業生36名のうち、32名が済生会川口総合病院に就職		看護専門学校卒業生の9割近くが市内の医療機関に就職しており、看護師不足の解消に寄与している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	7 細々目	済生会川口看護専門学校補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		4,270		4,270		4,270		3,843		3,843
決算額(B)=(C)+(D)		4,270		4,270		4,270				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	4,270		4,270		4,270		3,843		
概算人件費(E)		385		395		405		332		332
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.04 0.00 0.04 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,655		4,665		4,675		4,175	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	市内の医療機関に勤務する看護師を確保し、保健医療の充実を図るために必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。		
		翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	26	年度	～	令和	6	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実						
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業に関する協定書						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	高度な医療を安定的かつ継続的に確保するため、公的医療機関である済生会川口総合病院に対し、支援を行うもの。		市民が安心して医療を受けることができる体制を強化する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	新館及び本館改修等整備事業に要する借入金62億1,793万1千円に対し、令和6年度の返済利子の2分の1以内の額を予算の範囲内で助成した。		・補助額の合計:6,291,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	救急医療、新生児及び周産期医療体制の拡充により、市民に対し質の高い医療を提供することが可能となった。		公的病院を支援することにより、市民が安心して医療を受けることができる体制に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	3 細目	8 細々目	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		9,300		7,500		6,291		0		0		
決算額(B)=(C)+(D)		7,404		6,806		6,291						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	7,404		6,806		6,291		0				
概算人件費(E)		385		395		405		0		0		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,789		7,201		6,696		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	11 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	質の高い医療体制を確保するために必要な事業であった。	翌年度	完了
		翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	骨髄移植ドナー支援事業				担当	保健部	
						保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3291	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	26	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱、川口市骨髄移植ドナー助成金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	骨髄等提供したドナーの経済的負担を軽減するため助成金を交付し、ドナー登録の一層の拡大及びドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備を図る。		骨髄移植を必要とする患者に対し、骨髄が提供される。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・骨髄等提供したドナー1人につき、14万円(上限額)の助成をした。 ・骨髄移植提供に要した日数(上限7日)×2万円/1日で算出した。		骨髄等提供したドナーの経済的負担の軽減が図られ、患者の骨髄移植の提供に寄与した。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	骨髄移植を必要とする患者に対し、骨髄が提供された。		骨髄を提供したドナーだけではなく、骨髄等の提供に係る最終同意を行った後に当該骨髄等の提供が中止されたかたへの経済的負担も軽減できるよう助成金の対象を検討する。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成金交付率				指標・目標値の説明(算定式)	助成金の交付申請をしたドナーに対する助成金の交付率				
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00	
	実績値・達成状況	100.00	達成	100.00	達成	100.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	6 細目	1 細々目	骨髄移植ドナー支援事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		840		840		840		756		756
決算額(B)=(C)+(D)		420		560		280				
財源※	特定財源(C)	210		280		140		378		
	一般財源(D)	210		280		140		378		
概算人件費(E)		308		316		324		332		332
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		728		876		604		1,088		1,088

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	助成金の申請手続きをしやすくするため、オンライン等での申請方法について検討する。また、骨髄移を必要とする患者に対し、骨髄が提供されるよう周知啓発方法を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	医師会補助事業				担当	保健部 保健総務課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-229-3199	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市医師会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	医師会の活動を支援し、地域医療の推進、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図る。		市民が安心して医療を受けることができる体制を強化する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	川口市医師会が行った地域医療推進事業、公衆衛生啓発事業、学術研究事業に対し補助金を交付した。		・補助額の合計:2,547,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・地域医療推進事業により、市民の健康保持促進が図られた。 ・学術研究事業により、川口市医師会員の学術レベルが向上し、質の高い医療サービスが提供された。		川口市医師会の行う事業を補助することより、市民が安心して医療を受けることができる体制に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	1 目	6 細目	3 細々目	医師会補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		2,547		2,547		2,547		2,293		2,293
決算額(B)=(C)+(D)		2,547		2,547		2,547				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,547		2,547		2,547		2,293		
概算人件費(E)		385		395		405		249		249
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.03 0.00 0.03 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,932		2,942		2,952		2,542	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 /60	川口市医師会の活動は、市民の疫病予防及び公衆衛生の向上のために重要なものであるため、今後も現状維持で実施する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	医療安全相談事業				担当	保健部	
						管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	医療法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	患者、家族等の医療に対する信頼を確保し、患者本位の医療を推進するため、医療機関に対する助言、情報提供及び研修、並びに患者、家族等に対する助言及び情報提供を行う。		医療安全を推進することで、住民の医療に対する信頼を確保し、患者本位の医療を推進する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①医療機関に対する助言、情報提供、並びに患者、家族等に対する助言及び情報提供を行う。 ②医療機関に対する研修(患者が受ける医療について、患者自身が納得して自己決定できるよう、患者と医療者の情報を共有し、共に考え決定することができる共同意思決定(SDM)をテーマに実施した。)		相談件数630件のうち、納得度は96%。相談結果を分析し南部保健所と共有後、埼玉県南部地域の医療機関を対象に、医療安全研修会を実施。テーマは「患者の自己決定支援～共同意思決定(SDM)実践のコツ～」とし、管内医療機関より27名申込。うち19名受講。受講前のSDM認知度は約1割であったが受講後、全てが理解できたと回答。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	医療の不安や疑問等を解消し、受診を継続できた。また、医療安全研修会を受講した多くの医療従事者から、共同意思決定(SDM)は、自身の業務に活かせると評価をいただき、受講者から、「患者や家族を含めた話し合いの中で、SDMを念頭に患者の話を傾聴、承認し、患者の潜在的欲求や感情を見極めていきたい。」等の感想をいただいた。		医療の提供体制や医療従事者の接遇に不満を感じる市民がいる。医療現場における患者へのインフォームドコンセントや共同意思決定(SDM)を推進し、患者の尊厳を重視したコミュニケーション方法や合理的配慮の提供について周知啓発する。また、医師以外で対応できる業務は、タスクシフト・シェアを推進し、医師の負担を軽減する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	医療安全相談件数				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		300.00		300.00		300.00		300.00		300.00	
実績値・達成状況		613.00	達成	676.00	達成	630.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	6 目	2 細目	1 細々目	医療安全相談事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		25		50		50		50		50	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		25					
財源※	特定財源(C)	0		0		25		50			
	一般財源(D)	0		0		0		0			
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,310		2,370		2,455		2,540		2,540	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 ／60	医療内容の適正さや医療職の接遇について改善を求める声が多く、問題解決への期待値も高い。受益者(市民)に対し、医療安全相談で応需可能な内容の周知が長期的に必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	医療施設指導等事業				担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	医療法、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	医療施設開設者等に対し、医療施設関連法令の適正な運用を図り医療提供体制の水準を向上する。	医療提供体制の整備により、市民の安心・安全を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・医療機関等に対する監視・指導等の実施。 ・医療機関に関する許可・届出の受理。 ・あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師の施術所に関する届出の受理。	・病院、診療所(計26件)への定期立入検査の実施(7月～翌3月) ・かかりつけ医療機関マップの更新(3月完成)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
医療施設が関係法令を遵守することで、市民に適正なサービスを提供する場である医療施設等の施設面、管理面の質を確保し、市民の安心・安全を実現することができた。		定期立入検査は計画通り実施予定。医療提供体制の整備により、さらなる市民の安心・安全につなげる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	病院・診療所の定期立入検査			指標・目標値の説明(算定式)	病院:毎年実施 有床診療所:3年に1回実施			
	単位	回	指標の種別	活動					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		22.00		25.00		26.00		24.00	
	実績値・達成状況	22.00	達成	27.00	達成	26.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	6 目	2 細目	2 細々目	医療施設指導等事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		3,834		3,968		3,968		148		148
決算額(B)=(C)+(D)		3,826		3,842		3,965				
財源※	特定財源(C)	130		3,842		3,965		148		
	一般財源(D)	3,696		0		0		0		
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	19,226		19,642		20,165		16,748		16,748

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	立入検査の水準向上のため、診療放射線技師、臨床検査技師等の専門職の配置が望ましい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	薬事関連施設指導等事業				担当	保健部 管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市内の薬局開設者等に対し、医薬品等の供給体制の整備及び毒物劇物にかかる安全管理の向上を図る。	医薬品等の供給体制の整備及び毒物劇物にかかる安全管理を向上させ、市民の安心・安全を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	薬事関連法令の適切な運用を図る。	・薬局等に関する許可、届出等 ・薬局等に対する監視、指導等	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・薬事関連施設に対する許認可及び監視指導(通年) ・健康食品、家庭用品等の試買調査	医薬品等の供給体制の整備及び毒物劇物にかかる安全管理の周知を行うことにより、市民の安全、安心を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	薬局・医薬品販売業者の監視指導件数				指標・目標値の説明(算定式)	薬局等に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		50.00		50.00		50.00		50.00		50.00	
	実績値・達成状況	218.00	達成	427.00	達成	446.00	達成				
指標②	名称	毒物劇物販売業者の監視指導件数				指標・目標値の説明(算定式)	毒物劇物販売業者等に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		30.00		30.00		30.00		30.00		30.00	
	実績値・達成状況	73.00	達成	47.00	達成	47.00	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	6 目	2 細目	3 細々目	薬事関連施設指導等事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		150		207		154		219		219
決算額(B)=(C)+(D)		131		191		143				
財源※	特定財源(C)	131		191		143		219		
	一般財源(D)	0		0		0		0		
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		15,531		15,991		16,343		16,819		16,819

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	監視員の知識・資質の向上が必須である。複数の監視員が業務を遂行できるよう体制強化を図ることが必要。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	献血推進事業				担当	保健部	
						管理課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6614	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	53	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市献血推進連絡協議会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	市民及び市内事業所に勤務する者に対し、献血思想の普及及び献血者の組織化を図るとともに、献血により良質な血液を確保し、市民の生活に健康と幸福をもたらすことを目的とする。		血液事業の推進を図るとともに、血液を安定的に供給できる体制の確保する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	献血思想の普及・啓発を図ると共に、献血により必要血液を確保するため、献血推進連絡協議会を中心とし、各地区・事業所などに協力を得て、献血の推進及び献血組織の指導・育成を図る。		・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付 ・献血思想の普及・啓発 ・献血功労者等表彰 ・関係機関との連絡調整		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・川口市献血推進連絡協議会の開催(5月) ・川口市献血推進連絡協議会への補助金の交付 ・献血広報車運転業務の委託 ・川口市愛の血液助け合いのつどいの開催(9月)		血液事業の推進を図るとともに、血液を安定的に供給できる体制の確保に寄与した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	献血者数				指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県献血計画における目標値							
	単位	人	指標の種別	結果										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
		3,414.00		3,423.00		3,183.00		3,139.00		3,139.00				
実績値・達成状況	2,308.00	未達成	2,469.00	未達成	2,413.00	未達成								
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別											
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
実績値・達成状況														

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	6 目	2 細目	5 細々目	献血推進事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		2,965		2,510		2,904		2,299		2,299	
決算額(B)=(C)+(D)		2,306		2,078		2,252					
財源※	特定財源(C)	64		64		64		64			
	一般財源(D)	2,242		2,014		2,188		2,235			
概算人件費(E)		2,695		2,765		2,835		2,905		2,905	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,001		4,843		5,087		5,204		5,204	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 ／60	献血可能年齢人口の減少傾向に伴い、献血者を確保する方策を講じる必要がある。引き続き県や献血の実施主体である埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血者確保に努めていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	難病支援事業				担当	保健部 疾病対策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-423-6708	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実
根拠法令等	難病の患者に対する医療等に関する法律、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律、石綿による健康被害の救済に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病患者の医療費の負担軽減及び疾病に対する不安の解消をする 原子爆弾被爆者の医療費の負担軽減を図る 石綿の健康被害を受けた人及び遺族へ救済給付を行う 	指定難病患者等の良質かつ適切な医療の確保及び療養生活の質の維持、向上	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	<ul style="list-style-type: none"> 指定難病等医療給付、原子爆弾被爆者・石綿健康被害者の医療給付等の申請受付、進達、継続申請の案内 在宅難病患者訪問、面談、電話等相談、ケース支援検討会議、療養支援計画策定 難病対策地域協議会開催(2月)、難病相談支援者研修、医療相談事業 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度末 指定難病等受給者数 4,502人(155人増) 新規受付 829件、変更等受付 811件、療養費申請受付 470件 訪問、面談、電話等相談延べ件数 344件 難病相談支援者研修参加者 19人 難病医療講演会参加者 25人 原子爆弾被爆者給付等申請受付件数 11件 	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
<ul style="list-style-type: none"> 指定難病患者の医療費、介護負担が軽減され、生活の質の向上及び不安の解消に寄与した 疾病に対する理解を深めることができた 		<ul style="list-style-type: none"> 受給者数の増加から、医療費負担の軽減が図られ、良質かつ適切な医療は確保されていると評価する 指定難病は希少性、難治性疾患であるため、長期の療養を必要とする一方、適切な治療等を行うことで、在宅での療養生活や就労が可能な疾病もあることから、生活の質の維持、向上のためには、患者それぞれの病状に応じた支援が必要 	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ALS患者及び家族への療養支援				指標・目標値の説明(算定式)	ALS患者の療養支援計画の作成率				
	単位	率	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00	
	実績値・達成状況	100.00	達成	100.00	達成	100.00	達成				
指標②	名称	災害時医療機器使用者リストの更新				指標・目標値の説明(算定式)	災害時医療機器使用者リストの更新回数				
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		12.00		12.00		12.00		12.00		12.00	
	実績値・達成状況	12.00	達成	12.00	達成	12.00	達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		4 款	1 項	7 目	2 細目	1 細々目	難病支援事業			
年度		令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		20,060		10,026			14,561		16,274		16,274	
決算額(B)=(C)+(D)		19,476		6,826			12,970					
財 源 ※	特定財源(C)	1,827		1,841			300		2,344			
	一般財源(D)	17,649		4,985			12,670		13,930			
概算人件費(E)		46,200		47,400			40,500		49,800		49,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.00	0.00	6.00	0.00	5.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		65,676		54,226			53,470		66,074		66,074	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	災害時医療機器リストを月に一度見直し、更新を図っている。これら最新の情報を踏まえた災害時を想定した難病患者の療養支援計画の策定、見直しを適宜実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	奨学金貸付事業				担当	保健部
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-287-2511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実					
根拠法令等	川口市看護学生等奨学金条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	本校在学生を対象に、市内医療機関に看護職として就労したときは返還免除となる奨学金を貸し付けることにより、経済的不安なく勉学に専念できる環境を整備する。	有能な看護専門職を養成し、市内医療機関に看護師として就労させることにより、医療体制の充実に図り、健康を育むまちづくりに寄与する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	年度当初に新規及び継続貸付の申請を受け付け、条例の規定に基づき審査し予算の範囲内で貸付者を決定している。なお、貸付額は月額3万円(年額36万円)である。	令和6年度の実績は、貸付者数74名、貸付金額26,100千円であった。内訳は、新規貸付が33名(貸付金額11,880千円)、継続貸付が41名(貸付金額14,220千円)である。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	令和6年度卒業生40名のうち奨学金貸付者は29名(就職28名、進学1名)であった。また、28名の就職先は、市内医療機関26名、市外医療機関2名であった。なお、市外医療機関就職者については条例の規定に基づき貸付金全額の返還を求める。	令和7年度は、新規貸付者29名、継続貸付者45名、合計貸付者数74名であり、前年度と比較し在籍学生数が減少しているなか同数となっている。少子化等により学生の確保が困難になっていることが課題であり、本奨学金制度を積極的にPRすることにより、受験者及び入学者の確保を図り、より多くの看護師を養成し市内医療機関に輩出する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市立看護学校事業特別会計	1 款	1 項	1 目	3 細目	1 細々目	奨学金貸付事業
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)	25,200	30,240	29,880	30,600	30,600		
決算額(B)=(C)+(D)	24,120	25,650	26,100				
財源※	特定財源(C)	3,980	3,260	4,889	2,959		
	一般財源(D)	20,140	22,390	21,211	27,641		
概算人件費(E)	7,700	7,900	8,100	8,300	8,300		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	31,820	33,550	34,200	38,900	38,900		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
58 /60	市内医療機関の看護師不足の解消や、優秀な看護人材の育成、確保に寄与するため、学生の学業成績及び生活態度等を十分に考慮し、今後とも貸付を実施するものである。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	看護学科運営費			担当	保健部 看護専門学校	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-287-2511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-② 医療体制の充実				
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市内外から看護専門職を目指す人材を確保し、豊かな人間性を養い、看護専門職として必要な知識・技術・態度を習得し社会のニーズに対応できる有能な看護師を養成する。	有能な看護専門職を養成し、市内医療機関に看護師として就労させることにより、医療体制の充実を図り、健康を育むまちづくりに寄与する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	学校説明会等を開催することにより受験者及び入学者の確保に努めた。学生に対しては看護師国家試験受験資格を取得に必要な所定の単位(102単位・3,000時間)修得のため、講義・臨地実習等を実施した。看護師国家試験全員合格を目指し、特別講義や模擬試験を実施した。	令和6年度入学者の入試状況は、受験者数64名、合格者数43名、入学者数38名であった。 令和6年度卒業者は40名であった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	令和6年度卒業生40名の全員が第114回看護師国家試験に合格し、39名が就職、1名が進学している。 なお、就職者39名の就職先は市内医療機関35名、市外医療機関4名(埼玉県内2名、県外2名)である。	学生が修業年限3年で看護師国家試験受験資格の取得に必要な単位を修得するとともに、試験合格に向けて講義及び臨地実習を実施している。 少子化等により学生の確保が困難になっていることが課題であり、今後もあらゆる機会の実績等を積極的にPRし、受験者及び入学者の確保を図り、より多くの看護師を養成し市内医療機関に輩出する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況			
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位	指標の種別		
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市立看護学校事業特別会計	2 款	1 項	1 目	1 細目	1 細々目	看護学科運営費
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
予算額(A)	20,137	21,748	23,324	22,460	22,460		
決算額(B)=(C)+(D)	19,002	19,969	22,001				
財源※	特定財源(C)	19,002	19,969	22,001	22,460		
	一般財源(D)	0	0	0	0		
概算人件費(E)	88,400	94,800	97,200	99,600	99,600		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	11.00	1.00	12.00	0.00	12.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	107,402	114,769	119,201	122,060	122,060		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
58 /60	令和4年度のカリキュラム改正により、令和6年度にかけて環境面や教育内容を改正内容に合わせて見直しているが、引き続き専任教員を研修等に積極的に参加させることで教育の質の向上に取り組み、教育資源の充実を図るものである。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	被保険者証発送事務費				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、川口市国民健康保険条例施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	被保険者であること又は被保険者証兼高齢受給者証対象者であることを証明し、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付等を受けることを可能とする。		①被保険者に対し被保険者証を世帯単位で送付する。 ②70歳から74歳までの被保険者に対し被保険者証兼高齢受給者証を世帯単位で送付する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	毎年8月1日に更新(有効期限1年)される世帯、また、年度途中からの加入世帯への被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証の対象世帯へ交付した。		被保険者に対し、被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証を交付した。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証を受け取った被保険者が、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付等を受けることができた。		被保険者の健康の回復・維持のため、着実に事業を進めることができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	被保険者証当初発送件数(世帯数)				指標・目標値の説明(算定式)	8月1日更新被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証交付世帯(目標値の設定に馴染まない数値であるため、令和6年度から設定なしとする)					
	単位	件	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		85,000.00		85,000.00		0.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	81,039.00	未達成	79,750.00	未達成	77,056.00	—					
指標②	名称	高齢受給者証当初発送件数(世帯数)				指標・目標値の説明(算定式)	8月1日更新高齢受給者証交付世帯(令和2年度からは指標1に統合)					
	単位	件	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	0.00		0.00		0.00						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計										被保険者証発送事務費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)		55,976		52,578		54,961		87,452		87,452			
決算額(B)=(C)+(D)		50,197		48,827		50,047							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0					
	一般財源(D)	50,197		48,827		50,047		87,452					
概算人件費(E)		66,220		67,940		69,660		71,380		71,380			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00		
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	116,417		116,767		119,707		158,832		158,832			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
54 ／60	令和6年12月に被保険者証が廃止され、マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」を基本とする仕組みに移行した。令和6年度までは被保険者証を簡易書留で送付していたが、令和7年度更新時においては資格確認書は特定記録、資格情報のお知らせは普通郵便で送付し、コスト削減を行っている。				翌年度	効率化して実施
					翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	国保給付事務費			担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、川口市国民健康保険条例、川口市国民健康保険条例施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	国民健康保険被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関しての保険給付に係る申請、支給等に関する事務を適正に実施する。	事務を適正に実施することにより、国保給付事業を円滑に遂行する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・各種申請書等の作成、送付、受理及び審査 ・診療報酬明細書の点検 ・第三者行為損害賠償に係る共同事業 ・上記に係る会計年度任用職員の雇用	令和6年度給付件数(年報数値より) ・療養給付費 1,678,992件 ・高額療養費 80,952件 ・療養費 45,100件 ・高額介護合算療養費 201件 ・出産育児一時金 430件 ・葬祭費 668件 ・傷病手当金 2件 等	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・国保給付事務の円滑な遂行 ・外部委託の活用による国保給付事務の効率化 ・診療報酬明細書点検等による医療費適正化		給付事務を適正に執行するための費用という性質上、その支出は適正であることが前提であるため、常に精査しなければならない。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	高額療養費申請勧奨通知発送件数				指標・目標値の説明(算定式)	年度内に作成(発送)した高額療養費申請勧奨通知の件数					
	単位	件	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		
実績値・達成状況	0.00			0.00			17,779.00					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		80,391		81,886		80,448		89,389		89,389	
決算額(B)=(C)+(D)		73,208		72,702		72,426					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	73,208		72,702		72,426		89,389			
概算人件費(E)		7,700		7,900		8,100		8,300		8,300	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	80,908		80,602		80,526		97,689		97,689	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	当該事務処理は、申請書作成・送付・受理・審査・振込など、膨大な事務量が発生するため、会計年度任用職員の雇用や委託などを活用し、業務効率化及び医療費適正化を図っていく。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	賦課事務経費				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	地方税法、地方税法施行令、地方税法施行規則、川口市国民健康保険税条例、川口市国民健康保険税規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	納税義務者に対象期間の保険税額を知らせ、全額を納付してもらうことにより、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	被保険者がいる世帯の納税義務者に対して納税通知書を送付する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①継続して加入している被保険者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ当初納税通知書を送付。 ②年度途中からの加入者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ随時納税通知書を送付。 ③保険税額が変更となる場合、保険税の更正決定通知書を送付。	被保険者がいる世帯の納税義務者に対して納税通知書を送付した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
納税義務者が、賦課の決定理由、計算の根拠、保険税額及び個人明細、納付方法、納期等が明記された納税通知書の通知を受け、保険税を納税することができた。		医療給付費等、国民健康保険制度の原資となる国民健康保険税の確実な収納に向け、着実に事業進めることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	当初納税通知書発送件数			指標・目標値の説明(算定式)	当初(7月)賦課時の納税義務者数 (目標値の設定に馴染まない数値であるため、令和6年度から設定なしとする)						
	単位	世帯数	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		87,000.00		87,000.00		0.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	87,205.00	達成	83,165.00	未達成	81,491.00	—					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)							
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計										賦課事務経費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)		70,122		76,577		93,118		96,617		96,617			
決算額(B)=(C)+(D)		62,723		67,528		83,794							
財源※	特定財源(C)	43		52		56		52					
	一般財源(D)	62,680		67,476		83,738		96,565					
概算人件費(E)		80,003		82,081		84,159		86,237		86,237			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00		
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	142,726		149,609		167,953		182,854		182,854			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	口座振替率の更なる向上を図ることで、国民健康保険税の納付の利便性を高め、引き続き収納率向上に努める。また、今後の被保険者数の増減や経済動向等を踏まえ、県が目指している、令和12年度の保険税賦課方式の完全統一化に合わせ、段階的に保険税率の見直しを図る。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	国民健康保険運営協議会経費				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	26	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、川口市国民健康保険条例、川口市国民健康保険条例施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	国民健康保険法により市町村に設置が義務付けられているもので、国民健康保険事業の運営に関する重要事項について審議を行うもの。		審議には、被保険者代表、国保医師薬剤師代表、公益代表が委員として参加する。関係者から幅広く意見を聞くことにより、国民健康保険事業の適正な運営を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	会議を3回開催し、国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議した。		前年度決算、翌年度予算、また、改正予定の条例の内容等について委員から意見をいただき、国民健康保険事業の適正な運営に活かすことができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	国民健康保険事業の運営が適正に行われた。		法改正等に対応するためにも、引き続き協議会を開催していく。委員からより多くの意見を聞くことができるよう努めたい。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市国民健康保険運営協議会開催数			指標・目標値の説明(算定式)	年度内に川口市国民健康保険運営協議会を開催した回数			
	単位	回	指標の種別	活動					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	4.00	—	3.00	—	3.00	—		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計 1 款 3 項 1 目 1 細目 1 細々目 国民健康保険運営協議会経費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		812		808		803		796		796	
決算額(B)=(C)+(D)		418		388		367					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	418		388		367		796			
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,728		2,758		2,797		3,286		3,286	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	協議会を構成する委員は、被保険者代表(市民)、国保医師薬剤師代表、公益代表となっており、各分野の意見収集が可能となっている。今後も各委員に意見を頂きながら審議を行い、その時々に合わせて適正に会議を開催し、健全な国民健康保険事業の実施に繋げていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	保健衛生普及事業				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	被保険者に健康や医療に対する意識を深めてもらうため、受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)を記載した「医療費のお知らせ」(以下「医療費通知」という)を送付する。		被保険者の健康意識の高揚や医療費の適正化につなげることで、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・埼玉県国民健康保険団体連合会へ医療費通知の作成を委託する。 ・該当世帯に対して医療費通知を年6回送付		・令和6年度送付件数 315,950件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・被保険者の健康意識の高揚や医療費の適正化に寄与している。 ・医療費通知は、確定申告の添付書類としても使用可能なことから、被保険者からのニーズがある。		医療機関への受診情報や被保険者数の増減の影響により変動はあるものの、一定期間内に医療機関に受診した者に対し、医療費通知を送付している。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	医療費通知発送件数				指標・目標値の説明(算定式)	年度内に作成(発送)した医療費通知の件数				
	単位	件	指標の種別	活動							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	338,774.00	—	325,442.00	—	315,950.00	—				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計 4 款 1 項 1 目 1 細目 1 細々目 保健衛生普及事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		20,236		20,236		21,397		25,599		25,599	
決算額(B)=(C)+(D)		19,222		18,520		21,397					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	19,222		18,520		21,397		25,599			
概算人件費(E)		5,390		3,950		4,050		4,150		4,150	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.70	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		24,612		22,470		25,447		29,749		29,749	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	今後に向けて、より効果的、効率的な医療費通知の在り方を検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	後発医薬品利用促進事業				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	処方された医薬品を同一成分の安価な後発医薬品に切り替えた場合、自己負担額に一定以上の軽減効果が見込める被保険者に対し、差額を通知するもの。		医療費の負担軽減を促進するとともに、国民健康保険の安定的な運営を目指す。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・対象者を抽出し、埼玉県国民健康保険団体連合会へ後発医薬品利用差額通知書の作成等を委託する。 ・作成された通知書を対象者へ送付する。 ・発送から半年後の効果を検証する。		9月送付391件 3月送付296件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	後発医薬品への切り替えが進むことによる医療費の削減		後発医薬品利用差額通知書の発送件数は減少傾向にあり、後発医薬品への切り替えが進んでいると考えられる。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	後発医薬品数量シェア			指標・目標値の説明(算定式)	後発医薬品の数量÷(後発医薬品のある先発医薬品の数量+後発医薬品の数量)×100				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		80.00		80.00		80.00		80.00		80.00
	実績値・達成状況	83.00	未達成	84.60	未達成	87.30	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計 4 款 1 項 1 目 1 細目 2 細々目 後発医薬品利用促進事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		738		722		127		480		480	
決算額(B)=(C)+(D)		211		197		127					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	211		197		127		480			
概算人件費(E)		5,390		3,160		3,240		3,320		3,320	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	5,601		3,357		3,367		3,800		3,800	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	後発医薬品数量シェアは国が掲げる目標の80%を超えており、今後も継続した促進が必要と考える。埼玉県国民健康保険団体連合会の協力のもとで、より効果的な通知の作成・発送に組みみたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	疾病予防事業				担当	保健部 国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	58	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	川口市国民健康保険被保険者の人間ドック検診料助成に関する要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	30歳以上の川口市国民健康保険被保険者を対象として、人間ドックの受診料の一部を助成する。		被保険者の疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図り、医療費の削減につなげる。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・川口市医師会と協定を締結。 ・対象者への広報(ウェブサイト掲載、ポスター配布など) ・医療機関からの申請に対して助成金を支払う。		人間ドック検診受診者数 6,503人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	被保険者の疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を支援することができた。		平成30年度より胃がん検診において、内視鏡検査が受診できるようになったこと、令和3年度より特定健康診査の自己負担額を無料化したことなどから、受診率が減少傾向にあると考える。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診受診率				指標・目標値の説明(算定式)	受診件数／対象被保険者数×100					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		9.00		9.00		9.00		9.00		9.00		
	実績値・達成状況	7.95	未達成	7.73	未達成	7.65	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市国民健康保険事業特別会計		4 款	1 項	2 目	1 細目	1 細々目	疾病予防事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			218,960		208,979		189,029		181,770		181,770		
決算額(B)=(C)+(D)			175,997		162,075		152,659						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		175,997		162,075		152,659		181,770				
概算人件費(E)			5,390		3,950		4,050		4,150		4,150		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費〔(A)又は(B)〕+(E)			181,387		166,025		156,709		185,920		185,920		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 ／60	受診率の向上に向けて、今後も広く周知を図って行きたい。また、川口市医師会と調整を行いながら、医療機関内での広報についても協力を求めている。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	特定健康診査事業費				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、定期的に健康管理を行い、生活習慣病の早期発見や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上させ、医療費の適正化により医療保険の安定的な運営を目指す。		・国民健康保険被保険者の健康意識の向上 ・健康寿命の延伸 ・医療費の適正化	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・40歳以上の被保険者に対する特定健康診査受診券発送 ・特定健康診査の実施 ・未受診者への受診勧奨		・特定健康診査受診者数:18,671名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・特定健康診査受診率の向上 ・生活習慣病(脳血管疾患・虚血性心疾患・慢性腎臓病)の総医療費に占める割合の減少		特定健診受診により、多くの被保険者の健康管理や生活習慣病の予防へとつながっている。「3 事業活動・成果の状況」における令和6年度の受診率は11月に確定するが、9月末時点での前年度比は-1.5%である。受診率は年々向上していたが、令和6年度で低下に転じ、国の目標値60.0%にも遥かに及ばない見込みである。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定健康診査受診率				指標・目標値の説明(算定式)	指標:受診者数／受診対象者数×100(令和5年度までの実績値は法定報告の数値)。目標値:令和5年度以前は第2期データヘルス計画、令和6年度以降は第3期データヘルス計画に基づく。							
	単位	%		指標の種別	結果									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
		55.00		60.00		39.00		42.00		45.00				
	実績値・達成状況	34.70		未達成	35.70		未達成	34.20		未達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)								
	単位			指標の種別										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
	実績値・達成状況													

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計 4 款 2 項 1 目 1 細目 1 細々目 特定健康診査事業費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		391,607		421,214		376,436		366,655		366,655	
決算額(B)=(C)+(D)		335,710		360,223		344,627					
財源※	特定財源(C)	127,809		127,654		120,994		120,330			
	一般財源(D)	207,901		232,569		223,633		246,325			
概算人件費(E)		16,940		17,380		17,820		18,260		18,260	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.20	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	352,650		377,603		362,447		384,915		384,915	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	特定健康診査の受診率は年々増加傾向にあるが目標値には達していない。引き続き適宜取り組み内容を見直しながら、受診率の更なる向上を目指す。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	特定保健指導事業費				担当	保健部	
						国民健康保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	特定健康診査の結果により生活習慣病発症のリスクが高いと判断された被保険者に対し、専門職(保健師や管理栄養士等)が個別の保健指導を行うことで生活習慣改善を促し、生活習慣病や疾病の重症化を防ぐ。	・特定保健指導対象者が自ら生活習慣改善に取り組める ・健康寿命の延伸 ・医療費の適正化	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・特定保健指導(9月～5月頃):委託事業者が市内公共施設等で個別・集団にて生活習慣改善にかかる支援を実施。 ・糖尿病性腎症重症化予防対策事業(8月～3月):健診結果やレセプト情報より、糖尿病の重症化予防が必要と判断された者へ案内通知を送付。希望者へ個別に専門職による保健指導を実施。	・特定保健指導初回実施者数:276名(R7.6月末時点) ・糖尿病性腎症重症化予防対策事業申込者数:52名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
・特定保健指導による特定保健指導対象者の減少 ・糖尿病性腎症の医療費に占める割合の減少 ・健診受診者の血液検査数値の改善		保健指導の利用により、対象者の生活習慣改善及び生活習慣病予防に繋がっている。「3 事業活動・成果の状況」における令和6年度利用率は9月末現在11.5%(前年度末比+5.0%)であり、11月頃に確定する。年々増加傾向にあった実施率は令和5年度に減少に転じ、国の目標である60.0%には遥かに及ばない見込みである。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定保健指導利用率				指標・目標値の説明(算定式)	指標:利用者数／対象者数×100(令和5年度までの実績値は法定報告の数値)。目標値:令和5年度以前は第2期データヘルス計画、令和6年度以降は第3期データヘルス計画に基づく。								
	単位	%	指標の種別	結果											
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度					
		50.00		60.00		25.00		28.00		36.00					
実績値・達成状況	20.30		未達成	16.50		未達成	11.50		未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)									
	単位		指標の種別												
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度					
実績値・達成状況															

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市国民健康保険事業特別会計										特定保健指導事業費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)		43,020		48,363		46,001		45,836		45,836			
決算額(B)=(C)+(D)		30,311		31,910		32,200							
財源※	特定財源(C)	4,838		5,340		8,041		4,419					
	一般財源(D)	25,473		26,570		24,159		41,417					
概算人件費(E)		15,400		15,800		16,200		16,600		16,600			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	45,711		47,710		48,400		62,436		62,436			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	生活習慣病予防は若年層から必要ではあるが、国保被保険者の人口構成をみると前期高齢者が多く、加えて特定健康診査の受診者のボリューム層が主に70歳代であることから、幅広い年齢層のかたが効率的な保健指導を受けられるよう工夫が必要と考えられる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	健康診査事業				担当	保健部	
						高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業計画、広域計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	後期高齢者医療被保険者に対し、切な健康管理により、生活習慣病の発症や重症化を予防するため健康診査を実施する。		受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつける	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	対象期間: 令和6年6月1日から令和7年2月28日 実施場所: 一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関 実施内容: 生活習慣病の発症や重症化の予防に重点をおいた健康診査		受診者数: 16,912人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		受診者数を増やす	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康診査助成者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		15,000.00		15,000.00		16,300.00		17,000.00		17,000.00		
	実績値・達成状況	13,988.00	未達成	14,883.00	未達成	16,912.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市後期高齢者医療事業特別会計									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		198,393		199,248		228,277		230,976		230,976	
決算額(B)=(C)+(D)		185,308		196,940		224,152					
財源※	特定財源(C)	145,260		153,405		165,062		186,766			
	一般財源(D)	40,048		43,535		59,090		44,210			
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		187,618		199,310		226,582		233,466		233,466	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 ／60	実施に当たり他部署へ移管し、他検診と合わせ実施が市民にとっても有効ではないかと考える。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	人間ドック検診料助成事業				担当	保健部	
						高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業計画、広域計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかたの人間ドック検診料の助成を行う。		被保険者が人間ドックを受診するにあたり、その検診料の一部を助成することにより人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進に資すること。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進を図るため、人間ドック検診料の一部の助成を行う。被保険者に人間ドック受診の勧奨を行う。受診者の自己負担は6,600円で、受診費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。		受診者数:5,214人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、受診者が増加したことから、健康管理に対する意識の向上が見受けられた。		生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけ、健康管理に対する意識の向上が見受けられた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診助成者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		6,000.00		6,000.00		4,900.00		5,500.00		5,500.00		
	実績値・達成状況	4,571.00	未達成	4,805.00	未達成	5,214.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市後期高齢者医療事業特別会計									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		152,284		127,533		134,607		139,504		139,504	
決算額(B)=(C)+(D)		112,318		116,892		126,248					
財源※	特定財源(C)	63,215		63,338		84,559		77,000			
	一般財源(D)	49,103		53,554		41,689		62,504			
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	114,628		119,262		128,678		141,994		141,994	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	実施に当たり他部署へ移管し、他検診と合わせ実施が市民にとっても有効ではないかと考える。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	後期高齢者医療保険料徴収関係経費				担当	保健部	
						高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-1 健康を育むまちづくり-③ 医療保険制度の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第104条～115条					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	後期高齢者医療制度の安定的な財源の確保		保険料を収納する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	保険料賦課決定通知書を送付する。 保険料を収納する。 督促状・催告書を送付する。 保険料滞納者に対すし、滞納処分や執行停止をする。		滞納繰越分保険料収納率が向上した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	機会を捉えて口座振替の勧奨をしたことにより、口座振替のメリットを広く周知することができた。 また納付折衝の後、滞納繰越分保険料を完納した被保険者の中には、期限内納付に努めてくれるかたもあり、保険料納付に対する意識を変えることができた。		後期高齢者医療制度の安定的な財源の確保のため保険料の徴収および滞納者に対し督促状・催告書及び滞納処分を継続し実施する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	現年度分普通徴収収納率				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の収納率99.15%を目標とする。				
	単位	%	指標の種別	成果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		98.87		98.97		99.07		99.13		99.13	
実績値・達成状況	98.03	未達成	99.10	達成	99.13	達成					

指標②	名称	滞納繰越分収納率(後期高齢者医療保険料)				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の収納率33.39%を目標とする。				
	単位	%	指標の種別	成果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		33.28		33.32		33.36		33.39		33.39	
実績値・達成状況	37.40	達成	44.90	達成	42.72	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市後期高齢者医療事業特別会計						後期高齢者医療保険料徴収関係経費			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		32,538		36,154		43,343		44,352		44,352	
決算額(B)=(C)+(D)		29,864		34,079		42,263					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	29,864		34,079		42,263		44,352			
概算人件費(E)		13,090		13,430		13,770		14,110		14,110	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.70	0.00	1.70	0.00	1.70	0.00	1.70	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	42,954		47,509		56,033		58,462		58,462	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	滞納を解消するため、引き継続き滞納処分等実施していくが、他税等を含め市として総合的に収納対策を実施すべきではないかと考える	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施